SEGA SAMMY
HOLDINGS
セガサミーホールディングス株式会社
グループCSR推進室
〒105−0021　東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル
TEL:03−6215−9055
URL:http://www.segasammy.co.jp

SEGA SAMMY
GROUP

セガサミーグループ

CSR REPORT
2013

LIFE is
Entertainment

©SEGA　©Sammy
©SEGA TOYS／SPIN MASTER
©槙吾·小学館／BAKU-TECH PROJECT／テレビ東京
©'08, '13 SANRIO／SEGA TOYS S·S／W·TX·JLPC
©TMS

グループ経営理念

私たちは、世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。

グループCSR憲章

グループCSR憲章制定にあたり

私たちは企業の社会的責任（CSR=Corporate Social Responsibility）の遂行を経営の重要課題と考えています。
社会に生き続ける「企業市民」として、CSRの精神に鑑み、すべての法令・社会規範を遵守し、ステークホルダーとより良い関係を築くことで、健全な経営の実現と社会的な責任を果たせるものと考えます。そのための業務執行の指針として、ここにグループCSR憲章を掲げます。

お取引先とともに ≫P.34

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、ともに夢と感動溢れるエンタテインメントの提供を目指します。

お客さまとともに ≫P.26

私たちは、いつの時代においても、お客さまとともに歩みながら、夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し続けます。

社会とともに ≫P.46
社会貢献

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、本来の事業活動の繁栄を通じて社会に貢献するだけでなく、芸術・スポーツなどの文化の発展支援への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

株主・投資家とともに ≫P.38

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示を通し、透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

従業員とともに ≫P.40

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり、最大の財産です。私たちは、社員が持つ限りない可能性を最大限発揮できる企業文化を育み、ともに成長していきます。

社会とともに ≫P.52
環境

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、本来の事業活動の繁栄を通じて社会に貢献するだけでなく、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

Web ≫ホールディングスWEBサイト「グループCSR憲章・行動規範」で紹介
http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/

CONTENTS

特 集

事業活動を通じ、世の中に夢と感動をお届けするためのセガサミーグループらしい取り組みを、社員の想いやこだわりとあわせて特集として紹介します

P.9 特集1（サミー）
夢と感動をカタチに
～パチンコができるまで～

ぱちんこCR北斗の拳5覇者

©武論尊・原哲夫/NSP 1983, 版権許諾証YKA-105 ©Sammy

P.11 特集2（セガ）
エンタテインメントの新たな可能性
人類が初めて体験する地球
世界初"大自然超体感ミュージアム"
Orbi オービィ

P.13 特集3（セガトイズ）
子どもたちの憧れや夢を叶えるために
～玩具ができるまで～

©'08, '13 SANRIO／SEGA TOYS S･S／W･TX･JLPC

P.15 特集4（トムス・エンタテインメント）
スマイルタッチ デンタル

小児向け
歯科診療支援
ツール

© 2013 Gullane (Thomas) Limited. © SANRIO CO.,LTD.
© 藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK © ABC・東映アニメーション © baby toi
© やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV © 青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS

P.16 特集5
被災地支援活動について

1 グループ経営理念／グループCSR憲章
2 目次／編集方針
3 トップメッセージ
6 グループ概要
7 事業概要

9 特集1（サミー）
11 特集2（セガ）
13 特集3（セガトイズ）
15 特集4（トムス・エンタテインメント）
16 特集5（被災地支援活動について）

17 セガサミーグループの東日本大震災復興支援活動
19 セガサミーグループのCSR
23 コーポレート・ガバナンス ～組織統治～
24 コンプライアンス／リスク管理 ～公正な事業慣行～

26 お客さまとともに ～消費者課題～
34 お取引先とともに ～公正な事業慣行～
38 株主・投資家とともに
40 従業員とともに ～人権、労働慣行～
46 社会とともに＜社会貢献＞ ～コミュニティへの参画及びコミュニティの発展～
52 社会とともに＜環境＞ ～環境～

57 第三者意見／第三者意見をいただいて
58 グループ会社一覧

編集方針

2007年の創刊以来、様々なステークホルダーの皆さまに「分かりやすく読みやすい」誌面づくりを目指してきました。今号は以下の点をポイントに編集しました。

- 事業活動を通じ、世の中に夢と感動をお届けするためのセガサミーグループらしい取り組みを、社員の想いやこだわりとあわせて特集として紹介（P.9-16）
- グループCSR憲章を軸とし、5つのステークホルダーごとに基本的な考えや具体的な活動を社員の声を交えて紹介（P.26-56）
- 客観性を担保するために、第三者のご意見を掲載（P.57）

セガサミーグループは、今後もCSR精神を経営に反映させるため、ステークホルダーの皆さまとご意見を交換し合いながら、より良い企業市民となるべく、逐次改善を図っていきたいと考えています。このレポートへのアンケートを含め、皆さまの忌憚の無いご意見をお待ちしています。

参考にしたガイドライン

《GRI（Global Reporting Initiative）「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第3.1版》
《ISO26000(社会的責任に関する手引き)》

対象範囲

期間 ········ 2012年4月1日～2013年3月31日
※ 一部には発行日直近の報告や、2012年度以前の活動も含めています
組織 ········ セガサミーホールディングス株式会社、株式会社 セガ、サミー株式会社
※ 一部にはその他のグループ会社の活動を掲載しています
発行 ········ 2013年9月（次回発行予定:2014年9月）

会社名表記の定義

セガサミーホールディングス株式会社	ホールディングス
株式会社 セガ	セガ
サミー株式会社	サミー

トップメッセージ

日本全体の活性化および世界の持続可能な成長に貢献するために、新たな領域に積極的に挑戦し続けます。

社会から信頼され発展を期待される企業グループとなるために

ステークホルダーの皆さまと“価値観”を共有することが、CSRにつながる

近年、私たちを取り巻く事業環境はグローバル規模で激しく変化し、社会における価値観も多様化しています。こうした激しい環境変化の中で、社会から信頼され発展を期待される企業グループであり続けるためには、社会の要請や変化を的確に捉え、ステークホルダーの皆さまと“価値観”を共有することが重要であると考えています。

例えば、お客さまとの関係においては、安全で高品質な商品・サービスを提供することはもちろん、お客さまのニーズや期待を上回るエンタテインメントを提供し、夢や感動を共有することが重要です。お取引先との関係においては、夢と感動溢れるエンタテインメントをお客さまへ提供する良きパートナーとして、ものづくりへの想いを共有すること、またCSR活動の必要性をサプライチェーン全体に促すことも重要になります。株主・投資家の皆さまに対しては、健全な経営を実現し、安定的かつ適正な収益を創出し続けるために持続的な成長を果たす責任があります。地域社会との関係においては、事業を展開するそれぞれの地域における交流はもとより、芸術やスポーツなどの文化の発展や次世代育成に貢献することも必要ですし、発生から二年が経過した東日本大震災の被災地は、世間では風化される傾向にありますが、まだまだ多くの人手と時間が必要だと感じています。当グループでは、社員ボランティアや事業を活用し、今後も支援を継続してまいります。そして、セガサミーグループにとってもっとも重要な財産である社員との関係においては、社員が持つ限りない可能性を最大限に発揮できる職場環境をつくり、社員が自らの成長とグループの成長を合わせて実感できる企業風土を育むことが必要です。

このように、常に社会とのかかわりの中で事業活動を捉えて行動することが社会に対して責任を果たすことにつながり、自ずと社会から信頼され、発展を期待される企業グループになると考えています。私たちはこれからも、社会の持続的発展に貢献するために、ステークホルダーの皆さまとの対話を重ね、“価値観”を共有できる活動を積み重ねることでCSRを実践していきます。

セガサミーグループの一員であることに誇りを持てる会社を目指して

ステークホルダーの皆さまと“価値観”を共有する上で、私たちの活動の拠り所となるのは、『世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献する』というグループ経営理念です。社員一人ひとりが、このグループ経営理念に共感し、日々の事業活動の中で実践し、追求することで、私たちの存在意義が発揮でき、さらなるグループの成長があると考えています。そのためにも、グループ最大の経営資源であり、価値創造の源泉である社員にいまいちど理念の理解・浸透を促し、そして成長できる職場環境づくりに力を注ぎます。成長するために一番必要なことは、失敗を恐れないこと。一生懸命取り組んだ結果の失敗は、その先の成功につながるのです。つまり成功するための有効な失敗を、身をもって経験することが重要です。それが個人だけでなく組織としても実行できれば会社も成長します。私はこれからもチャレンジ精神旺盛な人財がたくさん活躍し、そして、セガサミーグループで働くことに誇りを持てる会社を目指したいと思います。

社会とセガサミーグループの持続的発展を目指して

私たちの存在意義であり、社会から期待されていることは、エンタテインメントを通じて、世界中のあらゆる人々に笑顔や喜び、夢や感動を届けることで、日々の生活に潤いや充足感、また明日への活力といった価値をもたらすことです。

現在、セガサミーグループでは、韓国・仁川市エリアにおけるカジノを含む複合型リゾート施設の開発事業、釜山での複合施設事業など、新しい事業展開を進めています。既存事業と並行し、こうした新事業の展開を加速化させることで、世界で一層高いプレゼンスを発揮できる企業グループとしていきたいと思います。

また現在、日本ではアベノミクスと呼ばれる日本経済の活性化策や各種規制緩和をはじめ、2020年東京オリンピックの開催決定等、日本全体が元気になる動きや気運が高まっています。

私たちは、これら日本全体の活性化、さらには世界の持続可能な成長に貢献するために、新たな領域に積極的に挑戦し、力強く成長し続けます。

一方、当社グループが提供するサービスや事業規模の拡大に伴い、ステークホルダーや社会に与える影響力が大きくなることも認識しなければなりません。私たちは、こうした状況や責任をしっかりと自覚し、セガサミーグループらしいCSRを実践することで、社会から信頼され発展を期待される企業グループを目指します。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長
里見 治

新たなエンタテインメントの可能性を追求する先に、私たちの成長がある

世界が驚くべきスピードで変化・多様化する中、本当に市場が求めている製品やサービスを提供できる企業が、社会の中で存在感を増す傾向にあります。こうした中、私たちは従来のエンタテインメントの枠にとらわれない新たな領域にも積極的にチャレンジすることで、持続的な成長を実現したいと考えています。

2013年8月に横浜「MARK IS みなとみらい」に開業した『Orbi（オービィ）』は、まさにセガの新たな領域へのチャレンジの第一歩といえます。『Orbi』は、セガがこれまで培ってきた技術力や創造力を活かし、幅広い層の方々を対象にした自然の神秘や大切さを体感できる全く新しい形の体験型ミュージアムです。このように、従来の領域にこだわることなく、エンタテインメントを通じて社会に提供できる新たな価値や可能性を追求するその先に、私たちの成長があります。

そして、持続的に成長するためにもう一つ重要なことは、私たち全員がワンチームになることです。私たちの成長は社会の発展、グループの発展とともにあります。だからこそ、常に全体最適の視点を持って、互いに思いやり、信頼し、組織が、会社が、グループが一つのチームとなることで、力強く成長していきたいと思います。

株式会社セガ
代表取締役社長COO
鶴見 尚也

サミーの良き伝統を継承し育み、社会の持続的発展を支え続けます

サミー株式会社
代表取締役社長COO
青木 茂

サミーの強みは、一つの物事に向かって社員一丸となってまっしぐらに突き進む団結力、そしてどんなことにも果敢にチャレンジする風土だと思います。これは1975年の会社設立以来、脈々と受け継がれてきた我が社の伝統であり、これまでサミーの成長を支えてきた原動力といえます。

今、私たちを取り巻く事業環境は厳しさを増しています。しかし、私たちにはこんなに素晴らしい良き伝統があります。社員一丸となってチャレンジし続ければ、次々と良いアイディアが生まれ、どんな課題でも乗り越え、そして社会とともに持続的成長を果たせるはずです。だからこそ、私はこの良き伝統を、いまいちど全社員と共有し、そして継承し育んでいきたいと思います。

私たちはこれからも、パチンコ・パチスロが身近で手軽な娯楽として存在し、多くの皆さまから愛され続けるよう、心に響くエンタテインメントを提供し続けます。そして、社会の持続的発展を支え続けるために、私たち自らが安定した収益を創出し、事業を持続的に発展させていくことで、業界の活性化、日本全体の活性化に貢献していきます。

グループ概要

セガサミーグループは、株式会社セガとサミー株式会社を中心として家庭用ゲームソフト、パチンコ・パチスロ遊技機、モバイルPC向けゲーム、玩具、アニメーション、携帯電話コンテンツ等幅広いエンタテインメント領域で事業展開する総合エンタテインメント企業グループです。

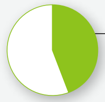
1951年創業のゲームメーカーのセガと1975年設立のパチンコ・パチスロメーカーのサミーが世界的な総合エンタテインメント企業を目指して2004年に経営資源を統合し、セガサミーグループとなりました。私たちは、大人から子どもまで幅広い年代のお客さま、国内、海外のお客さまに創造性溢れるエンタテインメントを提供し続けています。

セガサミーホールディングス会社概要

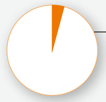
SEGA SAMMY HOLDINGS

社名	セガサミーホールディングス株式会社
本社所在地	〒105-0021　東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル21階
設立	2004年10月1日
資本金	299億円（2013年3月31日現在）
代表取締役会長兼社長	里見　治
事業内容	総合エンタテインメント企業グループの持株会社として、グループの経営管理およびそれに附帯する業務

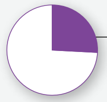
事業データ


1,422億円
44.2%

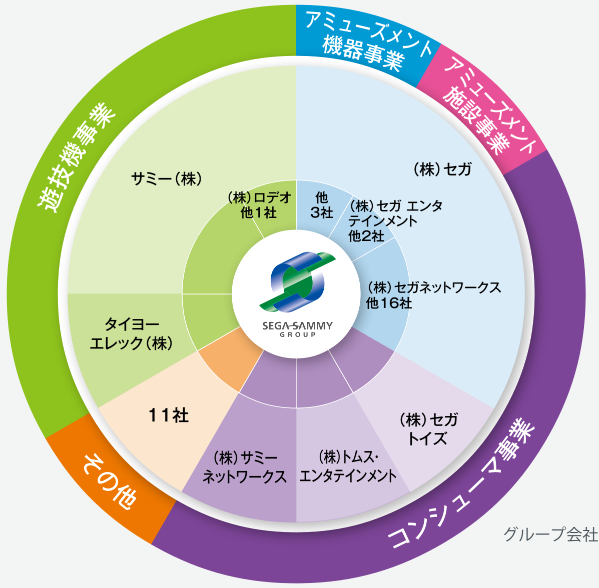
遊技機事業
パチスロ遊技機、パチンコ遊技機の開発・製造・販売、遊技場の店舗設計等


134億円
4.2%

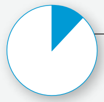
その他事業
複合型リゾート施設事業、情報提供サービス業、その他


838億円
26.1%

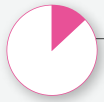
コンシューマ事業
ゲームソフトウェアの開発・販売、玩具等の開発・製造・販売、携帯電話等を通じたエンタテインメントコンテンツの企画販売、アニメーション映画の企画・制作・販売



グループ会社一覧は、P.58に掲載しています

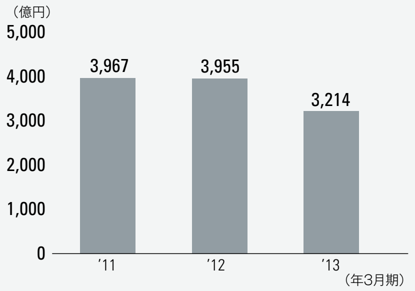

391億円
12.2%

アミューズメント機器事業
アミューズメント施設用ゲーム機の開発・製造・販売

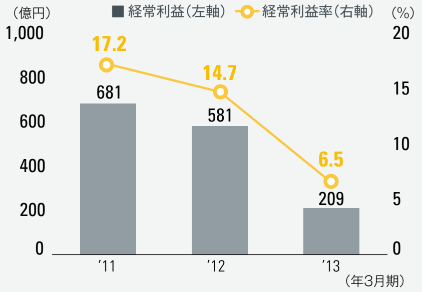

427億円
13.3%

アミューズメント施設事業
アミューズメント施設の開発・運営・レンタル・保守業務

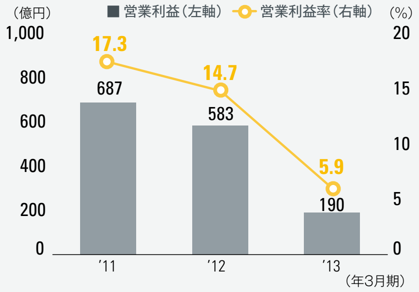
売上高



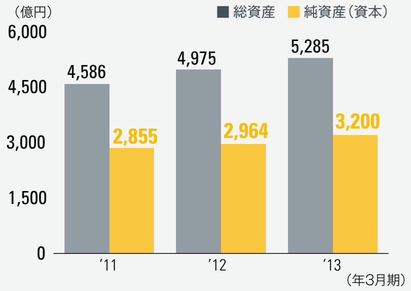
経常利益／経常利益率



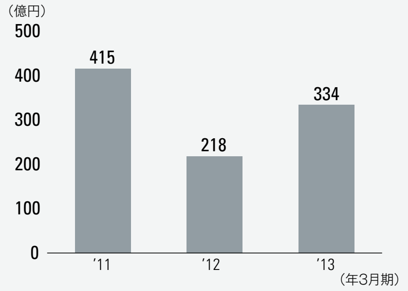
営業利益／営業利益率



総資産／純資産（資本）



当期純利益

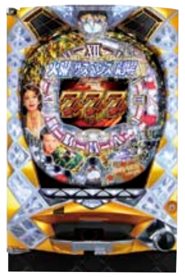


世界中の人々に夢と感動を与える
セガサミーグループの製品・サービス

遊技機事業

遊技機事業は、パチンコ遊技機事業とパチスロ遊技機事業で構成されています。サミー社を中心にマルチブランドを展開し、幅広いファンのニーズに応える製品を供給しています。パチンコ遊技機ではさらなる開発力の強化により、市場におけるプレゼンスの向上を目指し、パチスロ遊技機では市場の活性化に寄与する斬新な遊技性を備えた機械の開発・供給に取り組んでいます。

ぱちんこCR
北斗の拳5覇者
ⓒ武論尊・原哲夫/NSP 1983,
版権許諾証YKA-105
ⓒSammy


CR火曜サスペンス劇場
ⓒNTV ⓒ大映テレビ
ⓒホリプロ ⓒ東宝芸能
ⓒ山村美紗オフィス
ⓒTAIYO ELEC

パチスロ コードギアス
反逆のルルーシュ
ⓒSUNRISE/PROJECT GEASS・MBS
Character Design ⓒ2006 CLAMP
ⓒNAMCO BANDAI Games Inc.
ⓒSammy

新鬼武者 再臨
ⓒCAPCOM CO.,LTD.
ALL RIGHTS RESERVED.
ⓒSammy ⓒRODEO

湖月大淀店（サミーデザインがデザインしたホール）

アミューズメント施設事業

アミューズメント施設において、お客さまのニーズを捉えたゲーム機の構成とサービスの充実により快適なプレイ環境を提供する一方、知育要素をあわせ持ったファミリー向けの施設にも取り組むなど、立地やターゲットに即した店舗開発、施設運営を行っています。さらに、国内最大級の屋内型テーマパーク「東京ジョイポリス」、ダーツをメインコンテンツに飲食も充実させた「Bee」など、幅広い施設展開を行い、遊びを通じたコミュニケーションの場の創造に取り組んでいます。

東京ジョイポリス

Orbi Yokohama（オービィ横浜）

セガ神戸 Umie サウスモール

ダイニングダーツバーBee

オアシスパーク

アミューズメント機器事業

卓越した開発力を武器に、革新的な製品を他に先駆けて世に送り出すことでマーケットの発展に貢献してきました。幅広いユーザーをカバーする製品のフルラインナップ体制を構築しており、中でもネットワーク対応型ゲーム等の高付加価値製品を強みとしています。また、アミューズメント市場の活性化を目指し、新たなビジネスモデルの導入を推進しています。

WORLD CLUB Champion Football
シリーズ
ⓒSEGA ⓒPanini S.p.A. All Rights Reserved
PANINI The game is made by Sega in
association with Panini.
ⓒ2009 JFA

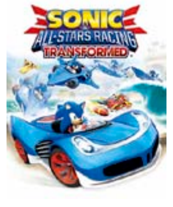
戦国大戦
ⓒSEGA

DARTSLIVE2
ⓒDARTSLIVE

TouchLive
ⓒDARTSLIVE

コンシューマ事業

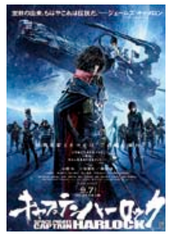
家庭用ゲームソフト事業は、「ソニック」シリーズをはじめ、数多くの有力タイトルを擁し、「セガ」ブランドは世界中で高いブランド力を確立しています。製販一体による事業体制の構築と日米欧地域間連携の強化により、さらなる収益力向上に努めています。このほか、グループ企業により携帯電話・PC向けコンテンツ事業、玩具事業、映像事業等を展開しています。

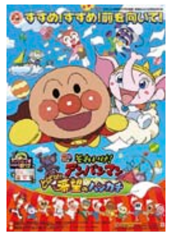

Sonic & All-Stars Racing
Transformed
ⓒSEGA

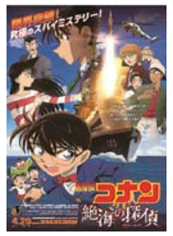
ファンタシースターオンライン２
ⓒSEGA

スマイルタッチ
ⓒ2012 Gullane (Thomas) Limited
ⓒSANRIO CO.,LTD
ⓒやなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV
ⓒ青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS
ⓒABC・東映アニメーション
ⓒ藤子プロ・小学館・
テレビ朝日・シンエイ・ADK
ⓒbaby toi

スマイルタッチ デンタル
ⓒ 2013 Gullane (Thomas) Limited.
ⓒ SANRIO CO.,LTD.
ⓒ 藤子プロ・小学館・
テレビ朝日・シンエイ・ADK
ⓒ ABC・東映アニメーション ⓒ baby toi
ⓒ やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV
ⓒ 青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS


キャプテンハーロック
ⓒLEIJI MATSUMOTO/CAPTAIN
HARLOCK Film Partners


それいけ!アンパンマン
とばせ!希望のハンカチ
ⓒやなせたかし／フレーベル館・
TMS・NTV ⓒやなせたかし／
アンパンマン製作委員会2013


名探偵コナン 絶海の探偵
（プライベート・アイ）
ⓒ2013 青山剛昌／
名探偵コナン製作委員会

777townSP
ⓒ武論尊・原哲夫/NSP 1983,
ⓒNSP 2007 版権許諾証PEL-211 ⓒSammy

777タウン.net
ⓒ武論尊・原哲夫/NSP 1983,
版権許諾証GT-706
ⓒSammy

アンパンマン
英語もしゃべるよ
おしゃべりいっぱい!
ことばずかんDX
ⓒやなせたかし／フレーベル館・
TMS・NTV

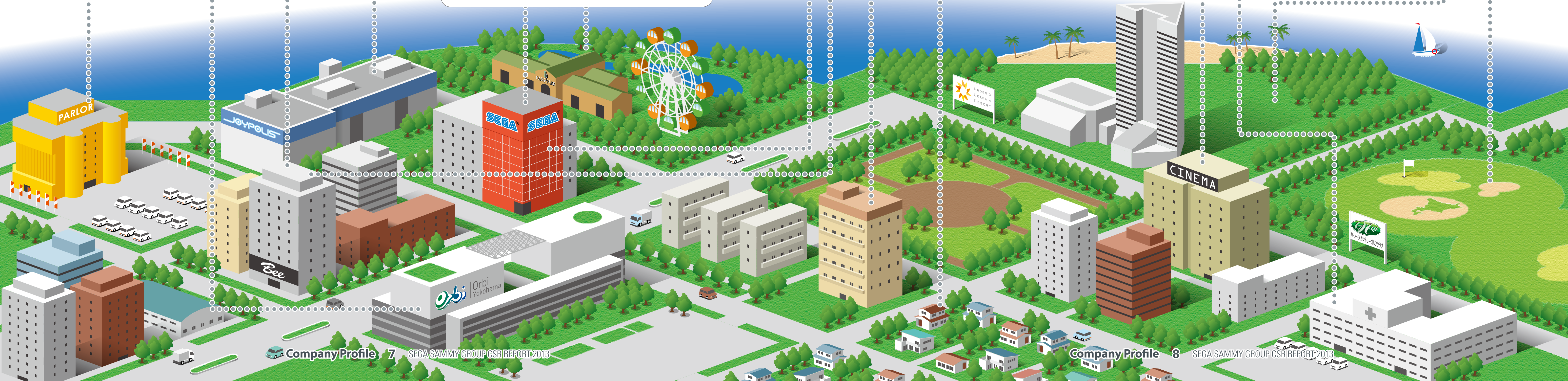
アンパンマン
いらっしゃいませ!
ジャムおじさんの
やきたてパン工場
ⓒやなせたかし／フレーベル館・
TMS・NTV

その他事業

複合型リゾート施設の開発・運営やゴルフ場運営、コールセンター、舞台演目の制作・興行等、時代の変化や社会のニーズに合わせた幅広いエンタテインメント事業を展開しています。

フェニックス・シーガイア・リゾート

ザ・ノースカントリーゴルフクラブ



夢と感動をカタチに

～パチンコができるまで～

“ドキドキ・ワクワク”をお届けするために

サミー株式会社
PC研究開発本部
PC第一技術研究開発部
稲村 淳

私たちの部門は、液晶や役物等、パチンコ台に組み込まれるすべての基板の電気回路設計やそれに伴う評価・試験等を主に担当しています。私たちのこだわりは、液晶や役物等の演出が際立つように裏の基板をきれいに配置すること、また機械に不具合を発生させないための設計や評価試験の強化など、表には見えない部分で機能やゲーム性の向上を下支えすることです。これからも、パチンコの醍醐味であり魅力の〝ドキドキ・ワクワク〟をお届けするために、開発メンバーと連携しながら、皆さまの要望をカタチにしていきます。

お客さまの満足と笑顔のために

サミー株式会社
営業本部 営業統括部（大阪支店）
立原 祐介

お客さまの満足や笑顔は、信頼関係があるからこそ生まれると考えています。だからこそ、常にお客さまの視点で物事を考え、期待以上の提案や対応を心がけています。日々反省することや課題はありますが、これからもお客さまとの出会いやコミュニケーションを大切に、信頼していただける魅力的な人間に成長したいと思います。

提供価値の最大化に向けて

サミー株式会社
営業本部 営業企画部
粂田 貴司

私たち営業企画部は、製品の魅力や特性・遊び方等を紹介するための様々なツールづくりや製品発売に伴うイベント企画等を担当しています。私たちの使命・こだわりは、〝伝わる〟ツール・企画を考案し、実行することです。お客さまの趣味趣向が多様化し、情報化が進む中でも、作り手の想いやサミーが提供したい価値・魅力をお客さまのもとへ確実にお届けするために、心に響く効果的なコミュニケーションを探究していきます。

ドキドキ・ワクワクをお届けする“こだわりのものづくり”

「新しいものはサミーから」の信念のもと、全社員一丸となって、お客さまの満足を追求しています

企画・製品開発
お客さまに夢と感動をお届けするための体制強化を図っています。

❯

設計
独自の基準を満たすために幾度も作り込みを重ねています。

❯

各種申請
法的規制に対応したものづくり。

❯

生産
JIS規格をもとにしたサミー独自の徹底した試験項目を定め、安全で良質な製品を提供しています。

❯

営業
お客さまに製品の特徴を理解していただくための取り組みを強化しています。

❯

カスタマーサポート
お客さまに製品を安心してご利用いただくための環境を整えています。

❯

提供価値の最大化

社会に配慮・対応した“責任あるものづくり”

各工程では、安全や環境をはじめ、法的規制に対応した責任あるものづくりを行っています

法的規制への対応と不正防止対策

製品を量産・販売する際は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」（以下、風適法施行規則）に基づく複数の許認可プロセスを経ることが義務付けられています。まず、一般財団法人保安通信協会（保通協）に型式試験申請を行い、材質・性能・遊技性などが風適法施行規則で定める規格に適合している旨の適合認定を取得します。その後、各都道府県公安委員会の検定を取得した後、次の営業・生産段階に進みます。

また、遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」（2004年7月より施行）を受けて、不正な方法で利益を得る、いわゆる〝ゴト行為〟を未然に防ぐために不正対策室を設け、継続的に市場情報を収集し不正に強い機械づくりに取り組んでいます。

環境への配慮・対応

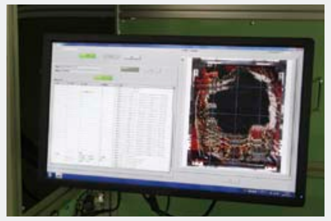
開発・設計段階では、部材の共通化による資源の有効利用や、鉛フリーはんだ部品、水系接着剤等、環境負荷の少ない原材料を採用しています。生産段階では、部品調達先に容器包装削減を依頼し廃棄物の発生抑制に努めるほか、生産工程で発生する廃棄物のリサイクルや適正処理などに取り組んでいます。また、廃棄段階では使用済みパチンコを適正に処理するため、自社台の下取りを行うほか、業界団体回収システム等を利用した適正なリサイクル処理を行っています。

なお、パチンコは資源有効利用促進法の対象製品であることから、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを徹底しています。（2012年度は遊技機のリサイクル率は98.47%、サーマルリサイクル除く）

安全・安心への対応

開発・設計段階では、部品やユニットの動作・耐久性など様々な角度から試験を繰り返し、製品の信頼性向上を図っています。生産段階では、JIS規格をもとにした独自の試験項目とあわせて、最新の画像検査装置も取り入れ、安定した品質を確保しています。

また、製品導入後も安心して製品をご利用いただけるよう、ホール関係者向けのカスタマーサポートセンターを設け迅速かつ丁寧な対応を行っています。さらに2012年度からは、お客さまのご都合にあわせてご利用いただけるアフターサービス専用のカスタマーサポートオンラインを開設しました。今後も、いただいた声や要望を関連部署にフィードバックし、製品開発や品質のさらなる向上につなげていきます。



表役物画像検査装置

安心をお届けするために

サミー株式会社
営業本部 カスタマーサービス部
馬渕 哲朗

私たちカスタマーサポートは、常にお客さま視点をもった〝さらに上〟の応対に努めています。そのため、部品の注文数やお問い合わせ数など、一歩先を予測した計画性の高いコールセンター運営を行っています。これからも迅速・丁寧なサービスはもちろん、お客さまに〝安心〟というサービスをお届けできるよう、日々改善に努めていきます。

ぱちんこCR北斗の拳5覇者
©武論尊・原哲夫/NSP 1983,
版権許諾証YKA-105 ©Sammy

※保通協申請：遊技機を製造・販売するにあたって、都道府県公安委員会の検定を受けることになりますが、保通協は、都道府県公安委員会に代わり、遊技機の型式の性能が技術上の規格に照らして適合しているかについての型式試験を実施しています。

※検定申請：遊技機には、国家公安委員会が定める技術上の規格があり、この規格に外れるものは遊技場に設置することができないとされています。『検定』とは、製造業者が、都道府県公安委員会に対し、自社が開発した遊技機の型式がこの規格に適合しているか否かについての審査を申請するものであり、遊技機を量産し全国的に販売を行うにあたって必要不可欠の手続きになります。

特集2 SEGA

エンタテインメントの新たな可能性

人類が初めて体験する地球
世界初“大自然超体感ミュージアム”

Orbi オービィ

新新でインタラクティブな、セガのエンタテインメント・テクノロジー。過去50年間にわたり地球上の生命と自然の神秘を撮影し、世界最高峰の自然映像を所有するBBC EARTHのコンテンツ。『Orbi』はこの2社のDNAが融合することで生まれた、今までにない全く新しい形のミュージアムです。メインシアターとエンタテインメント・エキシビションを中心に構成され、訪れた人は大自然の神秘を全身に感じる究極の没入体験を楽しむことができます。

Orbi
BBC EARTH
SEGA

［施設概要］
Orbi Yokohama
（オービィ横浜）

神奈川県横浜市西区
みなとみらい三丁目5番1号
MARK IS みなとみらい 5F
http://orbiearth.com/jp/

「シアター23.4」
～大自然を全身で感じる～

『Orbi』のメインとなる、セガとBBC EARTHの英知が結集したスペシャルシアターです。美しい4K映像だけでなく、匂いや風、霧、フラッシュライト、超立体サラウンドシステムなどによる演出で全身の感覚を刺激し、圧倒的なスケールで、これまで見ることができなかった〝真のBBC EARTH”が体感できます。

世代や国境を越えて誰もが楽しめるコンテンツ

「エキシビションゾーン」～未知なる地球を発見～

地球上の様々なシーンを舞台にした、大小12種類の「エンタテインメント・エキシビション」で構成されています。アトラクション的・ゲーム的手法によって、より楽しく、より直感的に地球や生命の持つ神秘を発見することができます。

浅瀬から深海までを巡る海中遊泳の旅を楽しめる、海をテーマにした癒しと神秘の空間。フォグスクリーンを用いた立体的演出が特徴です。

体感温度-20℃の特殊な部屋の中、風速15メートルの強風と映像演出で、極寒の地に生きる動物たちの生活の一部を体験できます。

「アフターショー＆サービス」～余韻に浸る～

BBC EARTHの撮影チームの舞台裏を紹介するメイキングコーナーや、様々なオリジナルグッズを揃えたショップを設けています。また、館内で自動撮影された写真やエキシビションゾーンで撮った合成写真なども購入できます。

BBC EARTH
クリエイティブ・ディレクター
ニール・ナイチンゲール 様

BBC EARTHと『Orbi』

BBC EARTHは、大自然の驚異を伝えることによって世界中で人々が、このかけがえのない惑星、地球とのより深いかかわりを希求するようになってほしいと願い、活動しています。BBCワールドワイドの主要なファクチュアル（ノン・フィクション）ブランドであるBBC EARTHは、他にはないユニークな方法により大自然との出会いを提供できるような―人々の想像をかきたて、驚きと感動を届けることができる―プロジェクトを通して、自然映像作品の境界線を押し広げたいと思っています。

従って、今回セガと共同で『Orbi』という画期的な体験エンタテイメントを製作し、テレビ画面という限定された世界から飛び出し、BBC EARTHのコンテンツを街の真ん中で人々に届けられる機会を得たことに我々は大変感激しています。BBCはこれまで50年以上にわたって、自然映像作品の世界を先導してきました。私たちの撮影クルーは信じられないくらい長い時間を費やして、目をみはる光景、感動の物語、素晴らしい生き物たち、そしてこの地球が提供する様々な驚異をテレビの前の視聴者に届けてきました。

しかし、『Orbi』を訪れる人々は、海底から北極の大自然まで、これまでカメラが捉えてきた地球の素晴らしさを多感覚的に体験できます。最先端のテクノロジーを駆使し、ヌーの群れの大移動の真っ只中に入り込んだり、空を飛びながら地上を見下ろすような、現実ではありえない状況を臨場感たっぷりに体験できるのです。それは、心躍る「大自然超体感」アドベンチャーです。

想像を絶する臨場感で、大自然の真っ只中に皆さまをお連れします。

驚異的なスピードで都市化が進む現代、子どもたちの多くは親世代には当たり前にあった「自然との触れ合い」が十分にできない環境で育っています。そんな都市空間にいながら大自然の神秘を間近に体感できる場所、それが『Orbi』です。『Orbi』は、現実の世界でもなかなか体験することができない大自然の真っ只中へと人々をいざない、地球の神秘や野生動物がもつ驚異の物語を通して、世代や国境を越えてあらゆる人々に感動をお届けします。

中でも、施設の目玉である「シアター23.4」は、日本最大級のスクリーン（幅40m×高さ8m）を設置し、『Orbi』のためだけに制作・編集されたBBC　EARTHの完全オリジナルストーリーを上映します。ここでは、ただ見るだけではなく、音を聞き、風を感じ、大自然の鼓動を体で感じることができます。是非『Orbi』に足を運んでいただき、地球の生命力を全身で感じて、人間が本来持っている好奇心を呼び覚ましていただきたいと思います。

『Orbi』は、日本にとどまらず世界各国へ展開することを目指しています。そして『Orbi』の体験を通じて、世界中の人々に楽しみながら自然への探究心を育んでいただく機会を提供していきます。

株式会社セガ
エンタテインメントパーク事業部
エンタテインメントパーク事業企画部
長谷川 敦彦

特集3 SEGA TOYS

子どもたちの憧れや夢を叶えるために

～玩具ができるまで～

セガトイズは「新価値創造 for the next smile」のビジョンのもと、従来の玩具の枠にとらわれない、新たな遊びを提案することで、世界中の人々に最高の笑顔と感動をお届けすることを目指しています。ここでは、玩具づくりにかける開発者の想い、製品安全に向けた取り組みを紹介します。

Jewelpet
Jewelpod ジュエルポッドダイアモンドプレミアム
Diamond Premium

©'08, '13 SANRIO／SEGA TOYS S・S／W・TX・JLPC

企画・開発におけるこだわり

子どもたちの笑顔のために

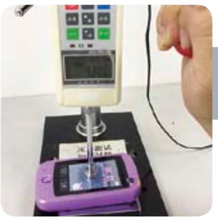
『子どもたちが抱く憧れや夢を、玩具を通して叶えたい』、そんな想いでいつも企画づくりに没頭しています。仕事の時はもちろん、プライベートの時でも、子どもたちは何に憧れているんだろう？興味を持っているんだろう？と、自然と子どもがいるところに足が向き、子どもの視点になって物事を考えています。私たちのこだわりは、200%自信が持てる玩具を作り込むこと。そのため、企画会議は何度でも繰り返しますし、メンバー全員が納得するまで、とにかくアイディアを出し合います。そうして完成した玩具を、子どもたちがうれしそうに手にしている姿を見た時は、最高にうれしい瞬間です。これからも世界中の子どもたちの笑顔のために、憧れや夢を叶えることができる玩具を創っていきたいと思います。

株式会社セガトイズ
国内事業部 ガールズ部 **堀辺 宏美**（写真左）／**宮崎 奈緒子**（写真中央）／**伊藤 さやか**（写真右）

品質試験を徹底しています

開発・設計段階の取り組み（試験の一例）

開発・設計段階では、設計審査や妥当性検証のゲートを設け、安全性の確保と市場不具合の未然防止に努めています。毎月開催される品質会議では、問題点や課題、改善状況の共有を経営層を含めて行っています。また、玩具は幅広い層のお客さまが使用することから、製品に含まれる物質について食品衛生法等に基づいた品質基準を定め、ポリ塩化ビニル（PVC）の使用を一切禁止する等、厳しい自主基準を設けています。なお、生産前には、製品の品質と安全を確認するために、自社で定めた品質基準のもと、試作品を用いた品質試験を徹底しています。



耐久試験、耐荷重試験、落下試験

スイッチやボタン、耐荷重、落下時等の耐久性を確認します。

高温高湿槽試験

温度、湿度を可変できる装置で、様々な環境条件での保存性、動作等を確認します。

静電気試験

人体モデルと等価の静電気を製品に印加し、安全性、故障等が発生しないかを確認します。

蛍光X線分析装置

製品にカドミウムや鉛、水銀等の有害物質が含まれていないかをすべての製品で確認します。

振動試験

輸送時の振動を想定し、お客さまにお届けした際に故障しないかを確認します。

試験規格

日本、アメリカ、EUの安全基準を分かりやすく壁に掲示し、注意喚起を促しています。

工場と連携して工程品質管理を徹底しています

生産段階の取り組み

自社に生産工場を持たないセガトイズでは、生産委託先との連携を強化し、製品の安全や品質向上、生産効率向上に向けた取り組みを行っています。工場の監査については、監査チェックリストを定め、定量的な評価を行っています。さらに製造工程設計まで踏み込み、改善指導、管理を徹底することで、工程品質を安定させ、出荷品質の確保に努めています。

三重チェックを実施しています

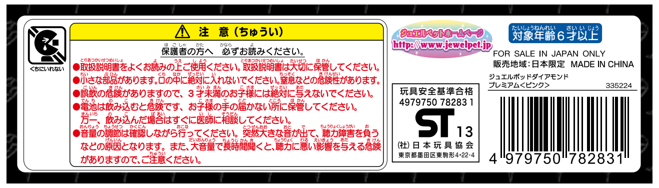
出荷段階の取り組み

生産委託先から製品を出荷する際に「出荷検査」を実施し、当社側では「受入検査」を国内外で二度実施します。こうした三重の検査で品質の確認を徹底しています。また長期滞留品の品質確認も定期的に行っています。

分かりやすい表記の工夫をしています

製品表示に関する取り組み

製品を安全にご使用いただくために、取扱説明書や製品本体等に誤使用や不注意による事故の回避に役立つ注意喚起や表示を行っています。説明書等の書面は、各事業部で定められた確認項目をチェックするとともに、一般社団法人日本玩具協会の玩具安全基準（ST基準）に準拠した、注意表記の内容を品質保証部が確認し、表示しています。また、製品のカテゴリーごとに必要な注意表記が漏れなく表記されるようデータベース化しています。



くちにいれない

⚠ 注 意（ちゅうい）

保護者の方へ 必ずお読みください。

●取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。取扱説明書は大切に保管してください。
●小さな部品があります。口の中に絶対に入れないでください。窒息などの危険性があります。
●誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
●電池は飲み込むと危険です、お子様の手の届かない所に保管してください。
万一、飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。
●音量の調節は確認しながら行ってください。突然大きな音が出て、聴力障害を負うなどの原因となります。また、大音量で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与える危険がありますので、ご注意ください。

ジュエルペットホームページ
http://www.jewelpet.jp

対象年齢6才以上

FOR SALE IN JAPAN ONLY
販売地域：日本限定 MADE IN CHINA

ジュエルポッドダイアモンド
プレミアム<ピンク> 335224

玩具安全基準合格
4979750 78283 1
ST 13
(社)日本玩具協会
東京都墨田区東駒形4-22-4

4 979750 782831

お客さまの声に学んでいます

販売後（アフターフォロー）の取り組み

顧客サービス室にて、お客さまのご意見・ご指摘・不良品情報をタイムリーに関係者へ配信し、情報共有を図っています。なお、不具合品は回収、解析・検証を行い、不良の傾向と対策、工場へのフィードバック、ナレッジ蓄積として類似製品の開発に活かしています。

製品安全への取り組み

品質は計画で創る

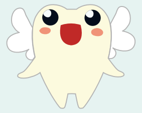
製品安全を確保するためには、完成品の評価・検証を徹底することはもちろん、開発・設計から製造にいたる各プロセスの品質レベルを向上させることが基本であり、一番重要だと考えています。現在、当部署では「品質は計画で創る」という方針を掲げ、品質の作り込みに関係者一丸となって取り組んでいます。玩具は小さいお子さまが手にするものだからこそ、安全・安心は何よりも重要です。今後もあらゆるケースを想定し、かつ使いやすさにもこだわりながら、いかにしてプロセス品質をあげることができるかを追求し、製品の安全確保に努めていきます。

株式会社セガトイズ
生産統括部 品質保証部 **大辻 健司**

小児向け
歯科診療支援
ツール

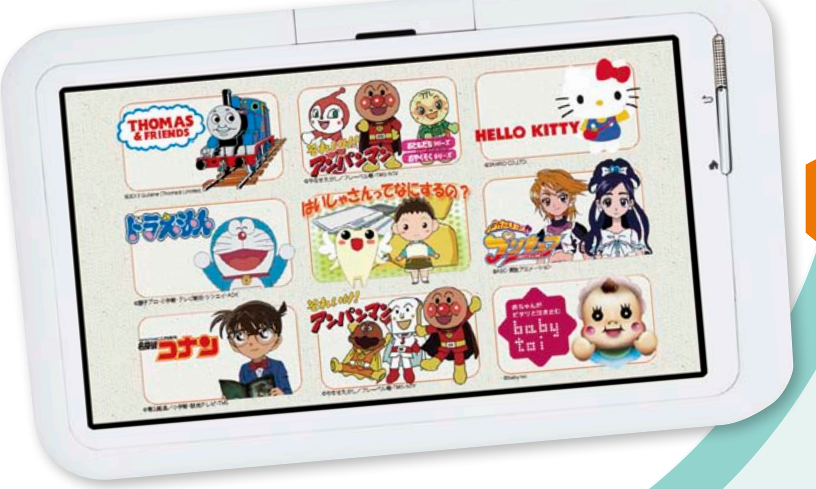
特集4　～アニメを活用し、小児歯科診療の充実と発展に貢献する～

スマイルタッチ デンタル



トムス・エンタテインメントでは、歯科診療における治療や検査を受ける子どもの診療意欲を高め、効果的かつ効率的な歯科診療環境の実現に貢献することを目的としたアニメ視聴端末『スマイルタッチ デンタル』を開発し、提供しています。

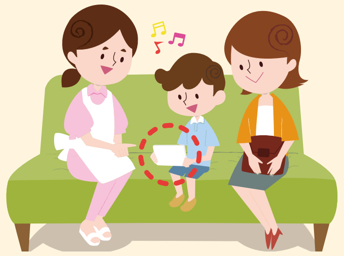
トムス・エンタテインメントは、2010年にアニメ映像を活用した小児医療向けプレパレーション※支援ツール『スマイルタッチ』を発売し、病児のケアを通じて小児医療現場の負担軽減に貢献してきました。
今回の『スマイルタッチ デンタル』は、「歯科診療でも活用したい」という多くの歯医者さんの要望に応え、誕生しました。
本製品は、綿密な市場調査と小児歯科専門医との協業によって開発されており、歯科診療のあらゆる場面で安心・安全に利用できます。また、患児に楽しみを提供し、治療中もリラックスできるように、当社が手がける「それいけ!アンパンマン」「名探偵コナン」等の子どもに人気のアニメも収録しています。



© 2013 Gullane (Thomas) Limited.　© SANRIO CO.,LTD.　© 藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK　© ABC・東映アニメーション　© baby toi
© やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV　© 青山剛昌／小学館・読売テレビ・TMS

診察の事前説明

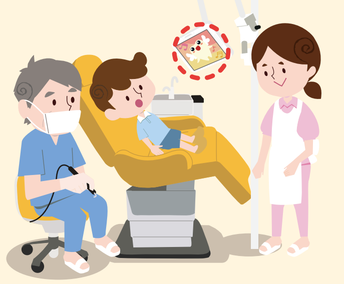
待合室やキッズコーナー等で、診療・治療への理解を促す



小児歯科専門医との協業で制作した歯科診療を楽しく分かりやすく説明するアニメ「はいしゃさんってなにするの？」を収録しています。診療・治療への誘導がスムーズになり、保護者からも高い評判を得ています。

診療・治療中

治療中でも視聴可能なため、リラックスして治療を受けられます



治療中は人気アニメを観ることで患児の不安や恐怖心を緩和し、スムーズな診療ができます。また、親や兄弟の付き添いで来た子どもへ、チェア横のアメニティとしても活用できます。

ステークホルダーの声

“子どもが見て理解する”を実現した画期的な診療支援ツール

普段私たち歯科診療従事者は、幼児や低学年児童に治療内容等を説明する際、「歯に魔法をかけて眠らせるよ」などと、子どもに分かりやすく、そして恐怖を与えないように配慮しています。しかし、それが子どもたちに十分に理解されているかどうかは検証されていません。今回開発された『スマイルタッチ デンタル』は、アニメ動画を活用して子どもの不安や恐怖を緩和しようとする、これまでになかった画期的なツールです。また、子どもたちへの説明を「親の了解を得れば良い」とする考えから「子どもたちに直接語りかける方法」へと進め、子どもたちの心を第一に考えようとする発想から生まれたプレパレーション※支援ツールでもあります。歯科治療は他の治療分野より恐怖感が強いといわれていますが、このツールを活用することで、子どもたちの不安や恐怖が和らぐ様子には、実際に驚くほどです。また、アニメ動画による説明は、発達障害等、軽度の精神障害を持った患者さまにも有効で、私たちと子どもたちの心を結ぶ懸け橋としての新たな役目、可能性も含んでいます。

子どもたちの笑顔や安心して治療を受けている様子は、私たちにとっても喜ばしいことです。今後さらなる機能やコンテンツの充実により、小児歯科治療に必要不可欠なツールに発展されることを期待します。

明海大学歯学部教授
渡部 茂 様

※プレパレーション：病気・検査・治療等について子どもの年齢や理解度に応じた説明を行い、理解を促すことで、子どもだけでなく家族がともに前向きに治療に取り組む意欲を引き出す医療概念であり、実践手法です。また、治療中に“大声で泣く”“治療を拒否する”等のストレス反応を示す子どもに対し、そういった不安や恐れを軽減する手法（ディストラクション）も「プレパレーション」の一種と捉えられ、近年では病児ケアを行う際の重要な要素として急速に小児医療の現場に広がりつつあります。

特集5

被災地支援活動について

セガサミーグループでは、2011年3月の東日本大震災発生直後から、義援金や物品の寄贈に加え、社員ボランティアの被災地への派遣、被災地応援イベントの開催等、様々な支援活動を継続的に行っています。
2013年5月、里見会長のCSRレポートインタビューに社員ボランティアや被災地応援イベントに参加した社員の代表者6名が同席し、被災地支援活動の現状や今後の予定・展望について意見交換しました。

●参加者
［前列左から］
株式会社セガ　エンタテインメントパーク事業部 運営部（東京ジョイポリス）　**橋本 哲郎**
セガサミーホールディングス株式会社　代表取締役会長兼社長　**里見 治**
株式会社セガ・ロジスティクスサービス　管理部　**藤本 めぐみ**

［後列左から］
サミー株式会社　コーポレート本部 総務部　**小林 秀一**
株式会社トムス・エンタテインメント　経営企画室 法務・ライツ部　**光川 弘治**
株式会社サミーネットワークス　マーケティング本部 ライツ推進部　**桑田 衛**
株式会社セガトイズ　国内事業部　ボーイズ部　**伊藤 洋**

光川　阪神淡路大震災の時に親戚が被災したこともあり、何か力になりたいと考えていました。しかし、個人の想いだけでは積極的に動くことが難しく、半ばあきらめていた時に、会社が社員のボランティアをサポートする制度や機会があるということを知り、参加しました。このように会社がバックアップしてくれることをとても心強く思います。今後も是非継続していければと思います。

藤本　社員のボランティアへの参加を、グループとしてサポートしてくれることに感謝しています。また、こうした取り組みに積極的なグループの一員であることに誇りを感じています。震災関連の報道やボランティア参加者の数が減少傾向にありますが、被災地にはまだまだ困っている方々がいます。これからも継続的な支援を続けていくことが大切だと思っています。

桑田　実際に現地に行くことで、報道だけでは知り得ない状況を肌で感じることができました。震災から2年以上経過しましたが、まだまだ困っている人がいるのではと心配になります。ボランティアに参加し、得た学びや経験を普段の生活や仕事でも活かしていきたいと思いますし、こうした経験を一人でも多くの社員ができれば、もっといい会社、グループになると感じました。

小林　私は東松島市と七ヶ浜町の被災地応援イベントに参加しました。イベント後に自治体の方から、「仮設住宅では、引きこもりや孤立する方がいる中で、このように住人同士が触れ合う機会が本当に大切なんです、とても感謝しています」という言葉をいただき、エンタテインメントの可能性や必要性を実感しました。これからも是非続けていきたいと思います。

伊藤　私は被災地応援イベントで爆丸のイベントを担当しました。汚れた爆丸のおもちゃを大事に握りしめている男の子との出会いが印象的でした。「家が浸水し、この爆丸だけが家に残っていた。これは僕の大事なお守りなんだ」という話を聞き、涙をこらえられませんでした。私たちがつくる商品が、子どもたちの力になっていることを感じ、これからも爆丸を通じて、もっとたくさんの子どもたちの笑顔を見ていきたいと思いました。

橋本　東京ジョイポリスでは、2011年の年末から2013年3月までに、関東圏で避難生活をされている方々を無料でご招待してきました。来館時には硬い表情の方が、帰る時には明るく元気になっている様子を見るにつけ、エンタテインメントを通じて笑顔を届けられて良かったと、私自身も元気がわいてきます。

里見　私も被災地を訪問し、様々な支援イベント等に参加させていただきましたが、やはり実際に現地に行って、自分で見て感じて体を使うこと。そして何より現地の方々と対話しながら自分たちに何ができるかを考え行動することがとても大事だと思います。復興支援も3年目に入り、住宅や雇用など様々な課題に取り組んでいかなければいけない中、避難生活を強いられている方々のストレスは大きく、また一方で引きこもりや孤立化等も問題視されています。こうした課題に対し、ストレス軽減やコミュニケーションの活性化などにつながるような貢献をさらに加えていくこともエンタテインメント企業グループである私たちの役割です。

社員の発案でスタートした社員ボランティア、被災地の皆さんの何かの手助けになりたいという思いから手探りで始めた被災地応援イベント等、様々な取り組みにグループ各社が協力し合いながら進めていることを誇りに思います。必要とされる支援は時間とともに変わってくるでしょう。今後も復興につながるタイムリーな活動を、皆で力を合わせて継続的に行っていきたいと思います。

セガサミーグループの東日本大震災復興支援活動

セガサミーグループでは、被災地の皆さまが一日も早く震災前の生活を取り戻せるよう、そして笑顔に、元気になっていただくために、継続的に震災復興支援活動を続けています。

東京ジョイポリスに被災者の方々をご招待

昨年度に引き続き2012年度も関東圏内で避難生活をされている被災者の方々103名をセガが運営する「東京ジョイポリス」にご招待させていただきました。（計23回、643名）

今後は、被災地域の方々を対象にご招待することを計画しています。

セガサミーグループへの期待

東雲の会代表

藤田 泰夫 様

江東区にある東雲住宅は、全国でも最大規模の応急仮設住宅です。避難者の交流組織である「東雲の会」は、避難者はじめ関係機関のご尽力で2011年9月に設立し、地域の町会・自治会、民間企業や江東区との窓口役そして、情報発信などを通し、避難者の孤立化防止と自立支援を主な目的としています。セガサミーホールディングス社には、東京ジョイポリスへ二回ご招待いただき、お礼申し上げます。家族がまとまって参加できる当イベントには、小さなお子さんからご年配の方々、そして今まで参加が少なかった年代の男性にも多数参加していただき、楽しい思い出とともに新しい交流が生まれました。今後も様々な試みを通し、孤立化防止と自立へのご支援をいただければ幸いです。

被災地応援イベントの開催

被災地を「笑顔、元気に」をテーマに、セガサミーグループのリソース（UFOキャッチャー、ダーツ、爆丸等）を活用した応援イベント「クリスマス2012東松島市矢本〝セガサミーグループがやってくる!〟」、「七ヶ浜町生涯学習フェスティバル」、「スマイルとうほくプロジェクト（福島駅前、名取市閖上）」を実施しました。被災地域の子どもたちを中心に、多くの市民、町民の方々に楽しんでいただきました。今後も継続し、笑顔を届けていきたいと思います。

セガサミーグループへの期待

東松島復興協議会
事務局長

西田 典昭 様

震災直後より、多くの企業様や団体から、物資・資金の援助やボランティア活動等様々な形でのご支援を東松島にいただいております。この場をお借りしてお礼申し上げます。いま、東松島をはじめとする被災地では、コミュニティづくりの重要性とその難しさが大きな課題です。私ども復興協議会がコミュニティづくりのきっかけを目的に開催する各種イベントで、ゲームやキャラクターを用いて子どもを中心に、人々に楽しい時間や空間をご提供くださるセガサミーグループ様は、今や、なくてはならない存在です。今後は、ボランティア活動や笑顔と癒しをご提供いただくことに加え、真の復興に向け、ものづくり・街づくりにつながる活動を継続的にご支援いただけることを願っております。

サミーショールームに被災者の方々をご招待

サミー本社のある豊島区には、80世帯ほどの被災者が避難しています。見知らぬ土地で不安や孤独を感じている方が多いとうかがい、社会福祉法人豊島区民社会福祉協議会と連携して、避難生活をされている被災者の皆さまをショールームへご招待しました。遊技機で遊んでいただくほかにサミー社員との座談会も設け、楽しんでいただきました。今後も継続してご招待しようと検討しています。

NPOと連携した支援活動

昨年度から継続し、社会福祉法人さぽうと21を通じて被災地への支援を行っています。2012年度は岩手県大槌町と宮城県気仙沼市に2棟ずつコンテナハウスを、また岩手県大船渡市の中学校へ琴など邦楽器を寄贈いたしました。

グループ社員ボランティア活動

グループ社員から参加者を募り、2011年6月から2013年7月までに計28回、のべ338名が宮城県東松島市と七ヶ浜町での復旧活動に参加しました。2013年度からは、仮設住宅内集会所での「お茶会」の企画や土壌整備をしてからのヒマワリの種まき等の活動を通し、被災地へ笑顔を届けるお手伝いをしています。

●社員ボランティア活動参加者の声

私が参加した今回のグループの活動は田畑の掘起しとがれき取り作業となりました。所有者の方々は高齢者がほとんどで、まだまだボランティア活動なくしては農地の復興はありえないことを痛感しました。一人の力は小さいかも知れませんが、一人ひとりの力が集まれば復興の大きな力となることをまた新たに実感することができました。また、参加したいと思います。

株式会社セガ・ロジスティクスサービス
物流サービス部

藤井 正造

第19回
2012年6月

宮城県七ヶ浜町は農地の9割以上が被災したとのことです。田畑の復旧は2～3年の時間を要し、最終的な田畑の「除塩」まで機械などの力ではできない活動がたくさんあり、大勢のボランティアの力が必要です。地元の方も、その力が必要だと切に願っています。これからも継続してお手伝いしに行くことが大事だと感じました。

サミー株式会社
営業本部 営業統括部

関 正博

第18回
2012年6月

私たちが作業した田んぼには、ガラスの破片、ビニールゴミ等がたくさん落ちていて、田植えができるまでには数年かかるそうです。実施に訪れてみて分かりましたが、被災地は本当に大変な状況で、これから先も様々な形のボランティア活動が必要だと感じました。セガサミーグループのボランティア活動は、現地の方の声を直接聞ける、有意義な活動だと思います。

株式会社セガトイズ
総務人事部

佐々木 佐知子

第20回
2012年6月

現場へ向かうバスの車窓からは、山積みとなったがれきや大きく曲がったままとなっているガードレールなど、まだまだ震災の被害を物語る風景が垣間見られました。田園地帯は一見すると穏やかな景色でしたが、潮の香りやたくさんの貝殻が出てきて、津波被害の甚大さを実感しました。一緒に活動したグループ会社の皆さまとの一体感もあり頑張ることができました。

株式会社ロデオ
管理部

石毛 清治

第20回
2012年6月

新入社員研修（社員ボランティア活動）

本年度も、セガサミーグループとして被災地の真の復興へ向け継続的支援活動を行うにあたり、産業復興の一端を担う支援活動を『2013年度　新入社員研修』の一環として実施しました。2013年度入社の新入社員95名が参加し（野球部、フェニックスリゾートを除く）、東日本大震災の被災地・宮城県東松島市牛網地区にて、農業支援活動を行いました。企業人として、セガサミーグループの一員として、社会への貢献活動として、人に尽くし、社会に尽くすという「志」を持ち、多様な価値観を理解し、それを尊重する土台として3.11の出来事を感じ、また自分の言葉で伝えられる人財として、各自の役割や社会的責任の重要性を考えた行動を目指します。

●新入社員研修（ボランティア参加者）の声

2年が経過していても多くのがれきが農地に残っていて現地の残酷さが伝わりました。また小さながれきを地道に拾うような単純な作業しか手伝うことのできない我々に対して、「ありがとう。助かります」と現地の方からお声がけいただき、今後も小さなことでも手伝えることを全力で行いたいと考えるようになりました。

株式会社セガ
コンシューマ・オンライン事業統括本部
国内アジアコンシューマ・オンライン事業部
国内アジア営業部

藤田 富明

実際に被災地を訪れてみると、テレビ等の報道では伝わらない実情を知りました。時間の経過に伴い、震災を忘れていく人がたくさんいます。私は、今回の農業支援活動を通して、一人ではできなくても皆で協力すればできることがあるということが分かりました。被災地の状況を知り合いに伝え、継続的な支援の必要性を広めていくことで、東北の復興を応援しようと思います。

タイヨーエレック株式会社
生産本部 生産管理部

土山 知之

映像と実際に現地で見るのは違うと感じました。穴を掘った時、数cmで違う種類の土やがれきが出てきた時には、津波があったことを実感しました。また、ビニールハウス製作にたずさわりましたが、20人以上の大人が6時間かけても、少ししか作業が進まなかったことで、震災直後のがれきの撤去が、いかに大変だったのかが分かりました。

株式会社サミーネットワークス
777タウン事業本部 企画開発部

坂口 太一

被災地の状況は新聞やテレビから情報を得ていましたが、自分からは遠いところで起こった話（ひとごと）のように感じていました。今回、自分自身で見て、聞いて、肌で感じる機会を得たことで、初めて今回の震災の恐ろしさを感じることができました。ボランティアに参加して手伝うだけではなく、震災が起きた事実に向き合い、被害をしっかり認識して、いつ自分に起こってもおかしくないこととして捉え、今まで以上に充実した日々を送ることが大切だと思いました。

サミー株式会社
コーポレート本部 総務部

石神 昴

新入社員研修同行者 エンタテインメントの大切さを改めて実感しました。どんな状況でもそこには、〝笑顔〟があるということ。笑顔が笑顔をつくるということ。しかし、被災者の方々はまだ時間が止まったままだと話していました。何故、今まで自分は何もしなかったのか、できないのではなく、しようとすらしなかったということに、自分自身で悲しくなりました。

株式会社トムス・エンタテインメント
総務人事部

入部 彩乃

セガサミーグループのCSR

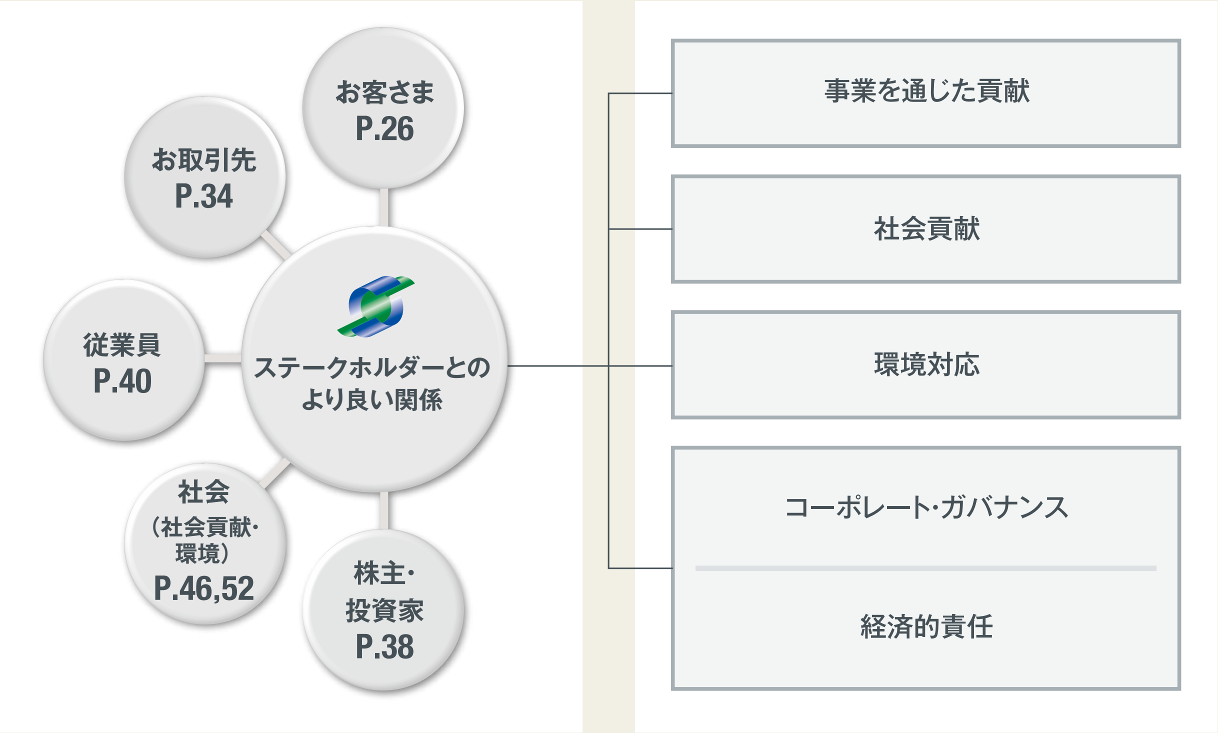
セガサミーグループのCSRにおける基本的な考え方

「私たちは、世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。」というグループ経営理念のもと、①事業を通じた貢献 ②社会貢献 ③環境対応 ④コーポレート・ガバナンス／経済的責任の四つの観点から見た活動を通し、責任を果たすことで、社会からの様々な要請や期待に真摯に応え、ステークホルダーとのより良い関係を構築することでセガサミーらしいCSRの取り組みを進めてまいります。

セガサミーグループCSR活動概念図とステークホルダーエンゲージメント

私たちは、世界中のあらゆる人々に
夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、
豊かな社会の実現と
文化の創造に貢献します。

CSR活動 ＝ 経営理念の日々の実践



ステークホルダーとの
日々のかかわりの中で、実践する

グループが掲げる
取り組みテーマとして、実践する（P.21参照）

企業グループと社会がともに持続する社会の実現

グループCSR憲章：社会に生き続ける「企業市民」として、CSRの精神に鑑み、すべての法令・社会規範を遵守し、ステークホルダーとのより良い関係を築くことで、健全な経営の実現と社会的な責任を果たせるものと考えます。

CSR推進方針について ～社会から信頼され、尊敬される企業グループを目指して～

セガサミーグループの成長は、社会の発展とステークホルダーの皆さまとのかかわりの中で成り立っており、社会の一員としてCSR（社会的責任）を果たすことは当然のことと考えます。CSRとは特別なものでも難しいものでもなく、私たちが掲げるグループ経営理念を日々実践することであるといえます。

法令や社会規範に則り、安定的かつ適正な利益を創出し、納税・配当を行うことで、社会の持続的発展を支えていきます。但し、それで十分という訳ではなく、世界的視野での地球環境問題や人権問題等の社会課題に対して、また、私たちを取り巻く地域社会のために、良き「企業市民」としてプラスになることを積み上げていきます。

なお、2011年に起きた東日本大震災においては、多くのグループ社員がボランティアに積極的に参加し、復興段階では、被災地に勇気や元気をお届けするために様々なイベント等を実施する中で、エンタテインメント事業の存在意義を再認識するとともに、社員の成長を実感し、誇りに思っています。今後も、社会貢献だけでなく、事業や環境対応を通じ、様々な形で社会に貢献していきます。

1. 事業を通じた貢献について

人は「衣、食、住」のみで生きていけるものではありません。人々が活力を持って生活するには、「遊び」や「楽しみ」といったエンタテインメントの力が不可欠です。私たちの存在意義であり、社会から期待されていることは、エンタテインメントを通じて、世界中のあらゆる人々に笑いや喜び、夢や感動をお届けし、日々の生活に潤いや充足感、また明日への活力といった価値をもたらすことです。安全で高品質な商品・サービスの提供はもとより、エンタテインメントを通じて社会課題の解決の一助となる商品やサービスを開発し、提供することを常に意識していきます。また、グループ企業のみならず関係する業界団体等とも積極的に連携・協力し、青少年の健全育成や適切な遊戯（遊技）環境づくりのための活動も推進していきます。

2. 社会貢献について

良き「企業市民」として、グループ全体としてはもちろん、グループ各社、各事業所等において、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、社会への貢献を進めていきます。また、こうした活動を通じて、社員一人ひとりの成長とグループとして強くなるためのベクトル合わせにもつなげていきます。

3. 環境対応について

気候変動や資源の枯渇、貧困など様々な問題が地球規模で起きています。企業が事業活動を行うことで、環境に何らかの影響を与えることは避けられません。汚染予防、廃棄物処理等に関する法令等の遵守に留まらず、グループとして、個人としてできることはたくさんあります。省エネやリサイクル、消耗品使用の削減等、環境のためにプラスになることは何か、何ができるかを社員一人ひとりが考え、行動していきます。

4. コーポレート・ガバナンスについて

コンプライアンスやリスク管理を含めたコーポレート・ガバナンスを徹底することは極めて重要です。経営理念の浸透、コンプライアンス意識の醸成、法令遵守体制や内部統制システムの強化等を行い、企業経営の健全性確保、透明性向上、効率性向上を行います。

また、社員一人ひとりが創造性とチャレンジ精神を発揮できる企業文化をつくるため、健全な職場環境づくりと人権の尊重と差別の禁止を徹底します。あわせて、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨する良きパートナーとして良好な関係を構築していきます。

5. 経済的責任について

グローバルな視点をもって事業を展開し、継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。そして、適正な利益還元、適時的確な情報開示を通し、経営の透明性を図り、株主・社会の期待に応えます。

私たちはこれからも、グループの成長のみならず、日本経済全体の活性化や世界の持続可能な成長に貢献するために、新たな領域に積極的に挑戦し、力強く成長し続けます。

一方、当社グループが提供するサービスや事業規模の拡大に伴い、ステークホルダーや社会に与える影響力が大きくなることも認識しなければなりません。私たちは、こうした状況や責任をしっかりと自覚し、セガサミーグループらしいCSRを実践することで、社会から信頼され、尊敬される企業グループを目指します。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長
里見 治

2012年度の目標と進捗・実績／2013年度の目標について

セガサミーグループの取り組み

※【 】の中に活動を実施する主要会社を記載

項目	2012年度の課題	進捗･実績	主な掲載ページ	2013年度の課題
事業を通じた貢献	安心、安全で楽しい製品・サービスの提供	●対象各国の法令、業界基準等に則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証【セガ、サミー、セガトイズ、セガ エンタテインメント】 ●お客さまサポート体制の充実【セガ、サミー、セガトイズ】 ●正確で適切な製品表示【セガ、サミー、セガトイズ】 ●業界団体基準等に準拠した安全基準【セガ、サミー、セガトイズ、セガ エンタテインメント】 ●地域警察・商店街等と連携した見回り、青少年保護対策【セガ エンタテインメント（AM施設）】 ●未成年による飲酒防止の施策【セガ エンタテインメント（Bee）】 ●業界団体を通じた適度な遊技環境の推進【サミー】 ●不正防止対策【サミー等】	P.9-11, 13-14, 27-33	• 製品・サービスの安心・安全の提供、並びに適正な情報開示の継続 • サポート体制のさらなる充実 • 正確で適切な製品表示の推進 • 業界団体基準等に準拠した安全基準の遵守の継続 • 不正防止対策の継続
	グループコンテンツを活かした社会課題解決への貢献	●小児医療（歯科）の発展に貢献する支援端末『スマイルタッチ デンタル』の開発と普及【TMS】 ●ショールームを定期的に高齢者へ開放（16回、128名）【サミー】 ●NPOとの協働で玩具を寄贈【HD、セガトイズ】 ●コンテンツを活かした被災地復興支援応援イベントを開催（4回）【HD、セガ、サミー、セガトイズ、TMS、SLS、ダーツライブ】	P.15,17,50	• 対象拡大などの推進
社会貢献	地域社会への貢献活動、業界活動等	●野球部による野球教室の開催【HD】 ●「みやざき救急ステーション」認定【PSR】 ●千歳市との災害時一時避難場所提供の協定を締結【セガサミーゴルフ】 ●障害者水泳選手権（九州大会）に共催【PSR】 ●ピンクリボン運動への寄付【サミー、セガサミーゴルフ】 ●地域スポーツ活動への協賛【HD、サミー】	P.47,49,50	• 事業の延長線上での社会貢献の実行
	グループ全体での貢献活動（東日本大震災復興支援等）	●グループ社員ボランティアを被災地へ派遣（12回、のべ153名）【グループ】 ●コンテンツを活かした被災地復興支援応援イベントを開催（4回）【HD、セガ、サミー、セガトイズ、TMS、SLS、ダーツライブ】 ●東京ジョイポリスに被災者の方々をご招待（のべ103名）【HD、セガ】 ●チャリティゴルフコンペによる東日本大震災等への寄付【サミー、セガサミーゴルフ】 ●第12回 東京JAZZなど芸術活動への協賛【HD】 ●絵本を届ける運動（215冊）（発展途上国のエンタテインメント環境整備）【グループ】	P.17-18, 47,48,51	• 復興支援の継続と新たなステージへの対応 • グループシナジーを活かした社会貢献の実行
環境対応	3R推進、環境配慮型製品等の事業関連の環境対応	●低消費電力製品の開発･提供点数が増加【セガ】 ●エコパチンコの開発、製品化への展開【サミー】 ●下取機リサイクル（98.47%達成）【サミー】 ●廃棄物有価リサイクル（川越工場勤務者による分別活動）を実施【サミー】 ●AM機器の手分解による100%リサイクルを実施【SLS】 ●年次サプライヤーミーティングでの環境規制等の情報を配信【セガ】	P.53-55	• 3R（特にリサイクル）の推進 • 環境配慮型製品開発・発売の推進 • その他環境保全活動の推進
	地球資源等への配慮活動	●グリーン電力証書の購入（100万kWh実績／年）【セガ】 ●直轄子会社4社の数値把握体制を構築【HD】 ●森林里親契約（セガの森）整備によるCO_2吸収量が長野県から評価【セガ】 ●複合機の入替え等による紙資源の削減【セガ、サミー】 ●シーガイア敷地内の黒松（250万㎡）の管理・保護･育成【PSR】 ●石油系燃料から天然ガスへの転換による環境負荷軽減【PSR】 ●カーボン・オフセット（県産J-VERの購入）【オアシスパーク】	P.53-55	• 環境施策の推進
コーポレート・ガバナンス	経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループ経営理念の浸透	●グループ経営理念をグループイントラネットに掲示し、グループ社員が常時閲覧可能な体制を整備し、また、「CSR項目」としてグループ経営理念などを社員手帳冊子に掲載、常時携行可能とし、社員啓発を促進【グループ】 ●経営トップから、社会情勢や事業発表とともに、現実に即した形で社員に分かりやすく経営理念の意味と実践についてメッセージを配信（年3回）【グループ】 ●管理職向け研修の実施による浸透・醸成【グループ各社】	P.22	• 経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループ経営理念の浸透
	コンプライアンス研修の実施等	●グループ役員向けコンプライアンス研修の実施（6回、23社121名）【HD】 ●新入社員向けコンプライアンス研修の実施【HD、セガ、サミー】 ●階層別各種研修の実施【グループ各社】 ●企業倫理ホットラインの設置による使いやすい通報制度の構築【グループ】	P.24	• CSR活動浸透のための研修 • コーポレート･ガバナンスの強化
	CSR情報の共有化	●社会の動静を察知し、リスク感度を高める目的でグループ会社のCSR担当者向け情報媒体（新聞・雑誌等）を通したCSR情報の収集とグループ各社への提供（毎月2回）【HD】	—	• CSR情報共有化の推進

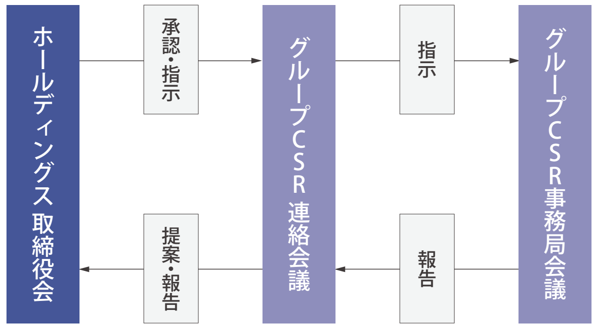
HD:セガサミーホールディングス（株）、TMS:（株）トムス・エンタテインメント、
セガサミーゴルフ:セガサミーゴルフエンタテインメント（株）、SLS:（株）セガ・ロジスティクスサービス、PSR:フェニックスリゾート（株）

CSR推進体制

セガサミーグループでは、CSR活動を当社グループの持続的価値創造とステークホルダーの持続的発展の双方を実現するための重要な活動と捉え、当社グループのCSR活動に関して連絡・調整を行う機関として、ホールディングスにグループCSR連絡会議を設置しています。

また、CSR活動を着実に推進するために、ホールディングスにグループCSR推進室を設け、グループのCSR活動を統括・管理しています。なお、グループ会社のCSR事務局メンバーが出席するグループCSR事務局会議では、具体的なCSR活動に関する施策の検討・実施・評価（PDCAサイクル）等を行っています。

セガサミーグループCSR推進体制図



CSRの浸透・意識の醸成

セガサミーグループでは、社員一人ひとりがCSR憲章を理解し、その精神に基づいたグループ行動規範に沿って行動してこそ、当社グループが掲げる「グループ経営理念」を実現できると考えています。ホールディングスのグループCSR推進室では、グループすべての社員を対象にCSR活動の重要性や取り組む意義を伝えながら、それぞれの理解度に合わせた各種研修をはじめとした浸透策を企画し、実行しています。

セガサミーグループのCSR
社会との信頼関係の構築
ステークホルダーとのより良い関係
全事業所にCSRポスターを掲示しています

SEGA SAMMY
セガサミーグループ
CSR Report 2012
ダイジェスト版
私たちのCSR
CSRの手引きやCSRレポートのダイジェスト版を全社員に配付しています

これまでの取り組みと今後の展開

2004年の経営統合後、社員のベクトルを一つに合わせてグループ全体でCSR活動を推進するために、2005年に「グループ経営理念」「グループCSR憲章」「グループ行動規範」を制定し、全グループ社員へ理解・浸透を図ってきました。2009年には重要性測定（マテリアリティ分析）を実施して取り組むべき課題を抽出・整理し、その結果に基づいた目標を定めて重要課題の進捗管理を実行してきました。

2012年にはマテリアリティを見直し、グループ全体で取り組む4つのテーマを設定し、このテーマに沿って事業会社ごとに目標を定め、進捗管理を行っています。（進捗管理はP.21参照）また近年、ISO26000の発行やGRIガイドラインの改訂などをはじめ、CSRに関連する環境が変化しています。こうした中、当社グループのCSRの取り組みを深化させつつ、社会適合性を一層強化するために、ISO26000などの国際規範を参考に、グループ各社と関連するサプライチェーンの取り組み状況の現状をレビューし、今後配慮すべきテーマや活動などの洗い出しを行っています。

これまでの主なCSR活動のあゆみ

2004	セガ、サミーが経営統合し、セガサミーグループが誕生
2005	グループ経営理念、グループCSR憲章、グループ行動規範を制定
2006	CSRハンドブック発行
2007	CSRレポート創刊　コンプライアンスハンドブック発行
2008	「森林の里親契約」締結（セガ）
2009	社員向けCSRレポート創刊 重要性測定（マテリアリティ分析）実施
2010	NPOとのダイアログ実施
2011	CSR有識者とのダイアログ実施 日本総合研究所「社会的責任経営の取り組みの進んだ企業」に選定
2012	新入社員向け合同CSR研修実施 グループ共通のCSR取り組みテーマを設定

Topics

新入社員向けのCSR研修を実施

2012年度入社のグループ新入社員105名を対象に、CSR研修を実施しました。研修では、当社グループのCSRの基本的な考え方や取り組み事例等を説明した後、CSRへの理解浸透を促すために5～8名のグループに分かれてワークショップを行いました。ワークショップでは、「セガサミーグループのリソースを利用して社会課題を解決する新企画」をテーマに様々なアイディアが飛び出しました。

コーポレート・ガバナンス

セガサミーグループは、コーポレート・ガバナンスを企業行動の最も重要な基盤として位置づけ、持続可能な企業価値創造にとって不可欠なことだと考えています。

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

セガサミーグループは、コーポレート・ガバナンスを企業行動の最も重要な基盤として位置づけ、企業経営の「効率性の向上」、「健全性の確保」、「透明性の向上」を「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」として掲げ、取締役候補者の選任、取締役報酬の決定、経営の監視、監査報酬の決定等、経営の重要な問題をこの方針に従い判断しています。

効率性の向上

迅速かつ適正な意思決定プロセスの確立および企業経営の効率性を向上させることで企業価値の最大化を目指し、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーに対して、その利益の還元に努めます。

健全性の確保

激しく変化する事業環境の中、企業価値の最大化を図るため、当社を取り巻く様々なリスクを適切に認識・管理するとともに、法令を含む倫理・社会規範等およびその背後にある社会的価値やその変化を捉えて的確に対処する体制（コンプライアンス体制）を確立することで経営の健全性の確保を図ります。

透明性の向上

企業に対して情報開示の重要性が高まる中、株主の皆さまをはじめとするステークホルダーに対して説明責任を果たすとともに、積極的なIR活動を行うことでディスクロージャーをさらに充実させ、経営の透明性の向上を図ります。

コーポレート・ガバナンス体制

セガサミーグループは、激しく変化する経営環境の中では、業界・市場動向・製品・商品・サービス等に関する知識や経験等に富んだ取締役が迅速かつ最適な経営判断を導き出すと考え、監査役設置会社形態を採用し、あわせて社外取締役の選任、執行役員制度と内部監査体制の強化を行い、運営と管理の両面からコーポレート・ガバナンス体制を充実させています。

取締役会は7名（うち2名が社外取締役）の取締役で構成され、毎月1度の定時取締役会並びに適宜開催する臨時取締役会において機動的経営を図っています。監査役会は、毎月1度の定時監査役会並びに適宜開催する臨時監査役会において、現在4名（うち3名が社外監査役）の監査役により議論を行い、具体的問題について十分に分析、検討しています。

そのほか、グループ役員連絡会、グループ監査役連絡会等、下記模式図の体制により各種施策を実施しています。

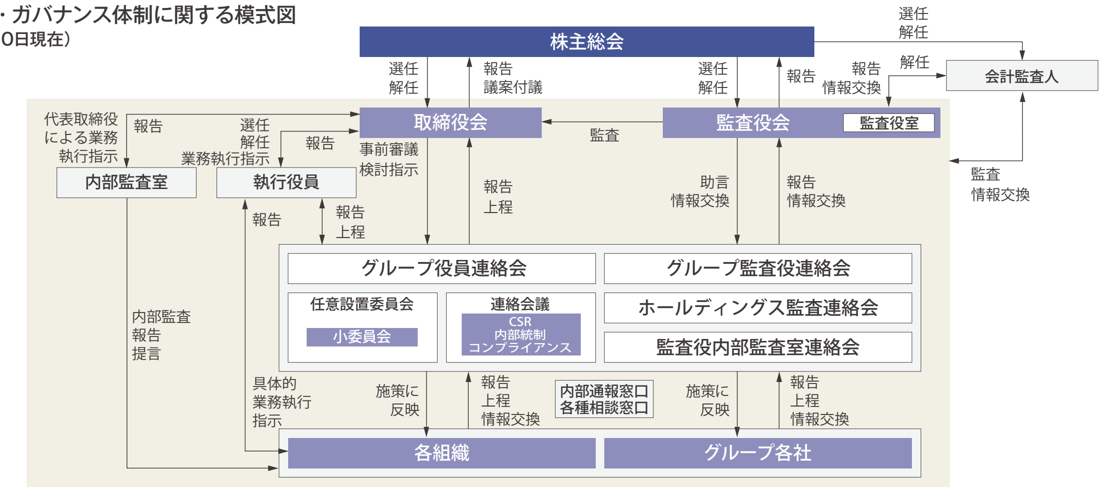
グループガバナンスの強化と内部統制システムの整備

セガサミーグループでは、グループガバナンス体制の整備と強化を図るため、グループ内部統制連絡会議、グループCSR連絡会議およびグループ・コンプライアンス連絡会議の3つの機関を設置するとともに、それらに対応し、かつ互いに連携･協働する専門部署としてグループ内部統制室およびグループCSR推進室を設置し、グループ経営にかかわる内部統制構築上の問題点、進捗等について審議･確認し、その維持･向上に取り組んでいます。

また、当社グループでは、グループ内部統制プロジェクトを2006年3月期に立ち上げ、企業集団として金融商品取引法に定められた「財務報告に係る内部統制の評価及び監査」制度（いわゆる日本版SOX法）が求める内部統制システムの評価・報告の仕組みを整備し、また評価によって発見した不備の改善を進めてきました。今後も、財務報告の信頼性を継続的に確保するとともに、効率性の向上と健全性の確保も視野に入れ、内部統制システムの維持と構築に取り組んでいきます。

Web »コーポレート･ガバナンスに関する報告書
http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/corp/governance/

コーポレート・ガバナンス体制に関する模式図
（2013年6月30日現在）



コンプライアンス・リスク管理

セガサミーグループは、「グループ行動規範」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを意識し適切な行動を可能とするために様々な取り組みを行っています。また、経営の内外に潜在する重要な損失リスクを洗い出し、対処すべき課題を明確化して、会社の事業遂行並びに経営資源の損失低減、再発防止に取り組んでいます。

コンプライアンス推進体制

セガサミーグループでは、グループ全体での取り組みを一層強化するために2009年度に立ち上げた「グループ・コンプライアンス連絡会議」のもと、法令や社会規範に則って健全な企業経営を展開するための社内体制を構築しています。

2012年度は、2011年度に立ち上げた「コンプライアンス推進運動」を継続して実施し、業務の適正を確保するための「内部通報制度の全面改定の周知」など、グループ全体での取り組みおよび展開を図りました。

コンプライアンス意識の醸成と浸透

セガサミーグループでは、コンプライアンス意識の醸成と浸透を図るために、グループ各社内向けの研修を適宜実施するほか、日常遭遇しそうな出来事を想定した具体例を分かりやすく編集したコンプライアンスハンドブックを全社員が適時閲覧できるイントラネットに掲載しています。また、漫画を使用した親しみやすい記事を掲載して社員への浸透に努めました。

今後も、グループ各社の先進事例を他のグループ会社に水平展開することでシナジー効果を生み出し、コンプライアンスレベルの維持・向上に努めます。

2012年度のコンプライアンス研修の実施実績（グループ各社）

種類	対象	会社名	回数	人数（のべ）
グループ役員向けコンプライアンス研修	国内グループ会社役員、監査役、執行役員	HD、セガ、サミーほか	6	121
新入社員研修	新入社員	HD、セガ、サミーほか	6	117
下請法研修	全役職員、全社員	セガほか	27	698
各種コンプライアンス研修	職位就任者、全社員、営業マン	セガ、サミーほか	34	1,081
個別テーマ研修（法務・契約・知財・情報セキュリティ・個人情報保護法ほか）	全社員	HD、セガほか	25	564
食品衛生研修	全社員、フードビバレッジ部門	フェニックス・シーガイア・リゾート	38	1,394

内部通報制度

「グループCSR憲章」の精神に則って、グループ内・社内での自浄機能を作用させ、また法令違反ないし不正行為等による不祥事の発生を防止するため、内部通報に関する制度（内部通報制度）を制定しています。グループ各社および社外の法律事務所に通報窓口を設置するとともに、通報事項に関する事実関係の調査、是正措置、再発防止策の実施、通報者の保護制度を設けています。

内部通報は不正発見の第一の手段として重要性が高まっており、同制度の実効性の向上に取り組み、従業員にとって利用しやすく、信頼に足る制度として全面改定しています。

下請法遵守体制の強化

セガサミーグループでは、下請代金支払遅延等防止法（下請法）遵守体制の一層の強化を図るため、内部監査を定期的に実施するとともに、法務部門による各部門への教育・指導等を実施しています。また、内部監査部門の働きかけにより各部門による自己点検を継続して実施し、結果を内部監査部門・法務部門・内部統制部門にて共有することで遵守体制の強化に努めています。

インサイダー取引防止への取り組み

ホールディングスでは、役員および社員によるインサイダー取引防止のため、「セガサミーグループインサイダー取引防止規程」を制定しています。法令が定める売買規制に関する事項を記載し、あわせて役員、社員による自社株式等の売買について事前の届出義務を定めることにより、インサイダー取引発生の未然防止に努めています。また、イントラネット等によりインサイダー取引規制に関する情報を適宜発信する等、役員および社員の意識が高まるよう、各種施策を実施しています。

2011年度からは、日本証券業協会のJ-IRISSに当社役員情報を登録し、不測の事故や意図しない不公正取引等、金融商品取引等による法令違反の未然防止を図っています。

腐敗防止、寄付金等の適正処理

セガサミーグループでは、「グループ行動規範」において、(1) 贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられるあらゆる腐敗を防止すべきこと、(2) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、関係法令に従って定められた社内ルールを遵守して、公明正大に行うべきことを明記しています。最近の外国公務員贈賄規制の厳格化という国際的な潮流もありますが、セガサミーグループでは上記「グループ行動規範」の遵守に取り組んでいます。

安全保障貿易管理

事業を国際展開しているセガでは、外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づき、国際社会の平和・安全の維持を目的として専任部門を設け、貿易管理に取り組んでいます。

セガの提供するゲームソフト、ゲーム機、インターネット配信等の技術は一般向けとはいえ、高度な技術が含まれていることから輸出が規制される場合があります。

会社規程の整備や社員向け研修の実施、イントラネットでの情報提供等により、輸出に携わる社員一人ひとりの理解の促進と意識を高め、法令違反を未然に防止するとともに、内部監査、監査結果による改善策を実施することで、適正な貿易管理体制を維持しています。

また、輸出を行うすべての企業に適用される「輸出者等遵守基準」に対応し、輸出実績のあるセガグループ各社についても実態に即した貿易管理体制を構築、維持しています。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方およびその整備状況について

セガサミーグループは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体に対し断固とした姿勢で臨み、反社会的勢力からの接触を受けた時は、適宜に警察・弁護士等を含め外部機関と連携して組織的に対処します。

なお、グループ行動規範では、「反社会的勢力・団体・個人からの不当な要求に対しては、毅然とした態度で対応し、利益の供与を行わないだけでなく、一切の関係を排除する」ことを宣言しています。

情報セキュリティの強化

セガサミーグループでは、お客さまの情報をはじめ、経営情報や営業情報等すべての情報を重要な財産と捉え「情報セキュリティポリシー」および「情報管理規程」において、企業秘密やその他情報の適正な取り扱いと管理方法を定めています。2009年度からはグループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合う等、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めています。

個人情報の保護

セガサミーグループでは、「プライバシーポリシー」を定め、お客さまからお預かりした情報を適切に管理する体制を整えるとともに、お客さまの個人情報への不正アクセスや紛失、改ざんおよび漏洩等を防止する適切な対策を講じています。今後も社員への教育・啓発、内部監査を通じた改善を実施し、個人情報の適切かつ安全な取り扱いに努めます。

知的財産に関する基本方針

セガサミーグループは、知的財産を企業競争力を高めるための重要な要素、かつ企業経営を支える重要な経営資源と位置づけ、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。

セガでは、各部門に知的財産推進委員を置くほか、各プロジェクトの現場責任者や担当者を対象として広く知財意識の啓発・普及活動を行っています。これにより、第三者の知的財産権を侵害することが無いように努めるとともに自社の知的財産権を適切に管理し、事業の保護・拡大を図っています。また、セガブランドの維持・向上のために模倣品対策等も実施しています。

サミーでは、研究開発のフェーズごとに技術調査等を実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。また、知財研修の開催や社内イントラネットにおいて知的財産にかかわる様々な情報を掲載し、社員の意識啓発に努めています。

災害発生時の緊急対策

セガサミーグループでは、会社規程として「危機管理規程」を制定する等して、経営活動に潜在するリスクの低減および危機の未然防止に努めるとともに、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。

ホールディングスでは、2013年4月「東京都帰宅困難者対策条例」の施行に向けてグループ各社への情報提供とヒアリングを実施し、2013年1月に「首都直下地震における帰宅困難者対策のセガサミーグループ基本方針」を策定しました。同基本方針に規定された「備蓄品」、「建物設備の安全」、「安否確認」、「帰宅ルール」について、各社ごとに手配・構築・実施し、イントラネット等を通して全社員への周知を図っています。

Topics

屋内消火栓操法大会に参加

PHOENIX SEAGAIA RESORT

フェニックス・シーガイア・リゾートでは、各事業所や施設等に設置されている屋内消火栓設備を、万一の場合に従業員が迅速・的確に活用できるよう、日々訓練を重ねています。そして、その成果を確認するために、宮崎県消防学校で開催される宮崎地区屋内消火栓操法大会に毎年参加しています。

お客さまとともに

CSR憲章

私たちは、いつの時代においても、お客さまとともに歩みながら、
夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し続けます。

私たちにとってのお客さまとは

セガサミーグループが販売・提供している製品、サービスを楽しまれるすべての方々がお客さまです。
私たちはすべてのお客さまのニーズに応え、心から楽しんでいただけるようなエンタテインメントを提供します。

グループ行動規範

「安全・高品質」「顧客の満足」

❶ 常にお客さまの期待に応えられる、安全かつ高品質な商品・サービスの提供に努めます。

❷ 常にお客さまの声に耳を傾け、満足頂ける商品・サービスの提供に努めます。

❸ 常にお客さまの目線に立ち、適正価格で、かつ迅速な商品・サービスの提供に努めます。

❹ 常に市場に目を配り、時代の変化に敏感であり続け、技術向上・アイデア創出に努めます。

「適正な取引関係」「情報開示」「クレーム・通報」

❺ お客さまとは常に適正な取引関係を保ちます。適正な利潤を損ねるような不当廉価販売、正常な商行為と認められないような行為は一切行いません。

❻ セガサミーグループの企業活動・商品・サービスについて、お客さまのより一層の理解に役立つ情報を、積極的に開示します。

❼ クレーム・トラブル・事故等については、内容を精査し、適切な対応を行います。

『爆丸 BAKUGAN』
©SEGA TOYS／SPIN MASTER
©槙吾・小学館／BAKU-TECH PROJECT／テレビ東京

お客さま満足の追求

≫セガならではの遊びを創造

社是「創造は生命（いのち）」の精神のもと、セガならではの革新的な“遊び”をお届けすることがお客さま満足の向上につながると考えて、日々製品開発を行っています。

アミューズメント機器では、業界初となる基本プレイ無料（一部課金あり）の「ぷよぷよ!!クエスト アーケード」を開発し、現在ロケテストを重ねています。また、筐体スケッチを先に起こし、それにあったゲームの企画を考えるという逆転の方法で音楽ゲーム「maimai」を生み出すなど、独創的な製品の開発に積極的にチャレンジしています。

maimai GreeN
ⓒSEGA

コンシューマゲームにおいても、新しい試みを行っています。「ファンタシースターオンライン2」ではPC版とPS Vita版のプレイデータ共有によって、より多くのお客さまがプラットフォームの垣根を越えてつながり、一緒にお楽しみいただける環境を提供しています。このクロスプラットフォームによって、家ではPC、外出先ではPS Vitaでどこでも同じようにプレイできるという新しい遊び方も可能としました。今後も、お客さま満足を創造する製品開発、セガならではの“遊び”を提供し続けます。

≫お客さまのニーズの把握と反映

お客さま満足度の向上を実現するためには、多様化するニーズを的確かつ迅速に把握し、製品開発やサービスに活かしていくことが重要です。セガでは開発・マーケティング・販売の各部門が密に連携し、マーケティングリサーチ機能を強化しています。お客さまと直接対面する展示会や店頭イベント等では、製品の魅力を伝えるためお客さまの層や趣向に合わせたプロモーションを展開するとともに、お客さまの声を製品開発に活かすためのアンケート等を積極的に行っています。

ヒーローバンク
ⓒSEGA

「次世代ワールドホビーフェア '13 Summer」では、会場で試遊されたお子さまへのアンケートを実施し、お子様の声を「ヒーローバンク」のキャラクター作りに活かしています

担当者の声

“予測できない面白さ”を多くのお客さまに

オンライン専用本格RPGとして2012年7月からサービスインした『ファンタシースターオンライン2』（Windows PC版）は、基本プレイを無料にし、短時間でも気軽に遊べるゲームシステムにしつつも、オンラインRPG最高峰のアクションやハイクオリティなキャラクタークリエイト等、セガの技術を詰め込みました。毎日遊んでも飽きない「無限の冒険」が、幅広いプレイスタイルで楽しまれています。『ファンタシースターオンライン2』を通して、「人と人とのコミュニケーションによって生まれる“予測できない面白さ”」というオンラインゲームの魅力を一人でも多くの方に感じていただきたいと考えています。今後はWindows PC版、PS Vita版に続き新たにスマートフォン版も追加され、“一期一会の冒険”の場はさらに充実していきます。ご期待ください。

株式会社セガ
開発統括本部
第三研究開発本部
オンライン研究開発部
酒井 智史

Topics

「SEGA ID」サービスを開始

セガが提供する様々なサービスを、一つのIDで簡単に、より楽しく便利にご利用いただくために、「SEGA ID」というサービスを開始しました。登録いただくと、PCオンラインゲームの利用はもちろん、Aime（アイミー）サービスサイトの利用等、アーケードタイトルとも連動した様々なサービスが利用できます。

SEGA ID
セガのサービスをもっと楽しく便利に!!
SEGA ID とは

「SEGA ID」の登録は無料です

製品・サービスの安全と品質保証

≫品質保証体制の強化

独立した品質保証部のもと、品質保証規程に基づいて製品・サービスの安全性と品質を一括して管理する体制を強化しています。特に製品の安全性については、当社が定める自主基準並びに業界団体（JAMMA※）のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、海外においても、現地に合った品質保証体制を構築しています。

※JAMMA：一般社団法人日本アミューズメントマシン協会

≫品質問題発生時の対応と情報開示

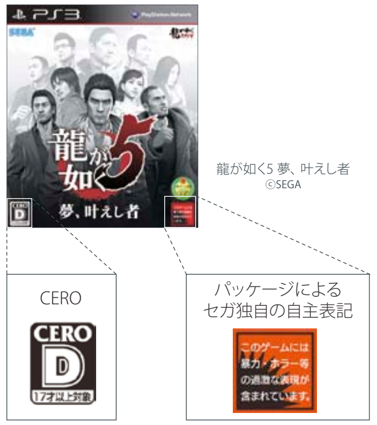
製品・サービスが起因となる品質問題が発生した場合は、その規模や種類に応じて、確実で迅速な対応を行うとともに、恒久的に再発を防止するための体制強化も図っています。情報開示については、ダイレクトメールや業界紙等を通じて速やかに行い、必要に応じて専用窓口を設置する等して、アミューズメント施設運営事業者さま、ユーザーさまの不利益を最小限に抑えるよう努めています。

≫お客さまサポート体制の充実

お客さまから寄せられる様々な声に総合的に対応するため、ユーザーサポート窓口を設置するとともに、お客さまの声を社内各部署に届ける専門の部隊（Voice of Customer）を設け、製品およびサービス品質の向上につなげています。アフターサービスにおいては、保守・補修・パーツ提供や物流機能を担うセガ・ロジスティクスサービスと社内対応部門が品質問題の傾向分析や改善策を討議し、開発・生産・販売へ報告することで、改善を図っています。

≫製品やサービスの表示とラベリング

製品パッケージや取扱説明書をはじめとしたツールは、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制（PL法等）や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本国内においては、CERO※が制定するレーティング制度に基づく対象年齢表示に加え、当社が独自で設定している自主基準も表示しています。


CERO
CERO D 17才以上対象
パッケージによる
セガ独自の自主表記
このゲームには暴力・ホラー等の過激な表現が含まれています。

龍が如く5 夢、叶えし者
ⓒSEGA

CEROのレーティング制度に基づく対象年齢表示と当社独自の自主基準の表示

※CERO：特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構

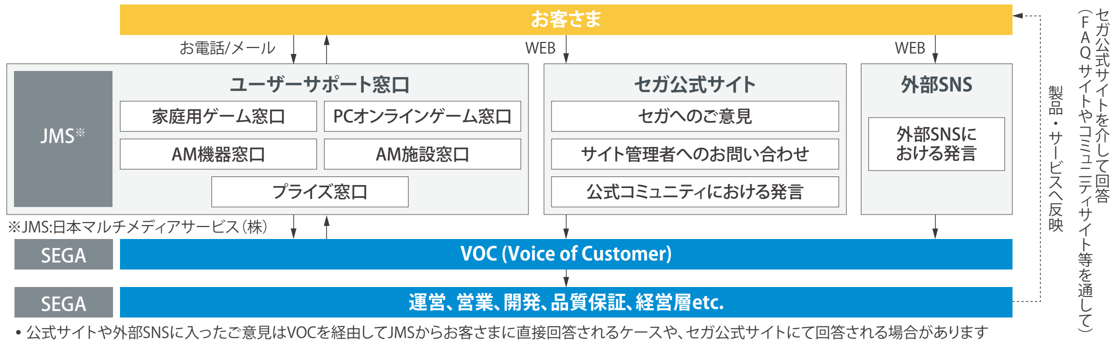
担当者の声

安心して“遊びながら学べる”製品を提案していきます

私は現在、3~5歳の未就学児を対象としたアミューズメント機器の開発を担当しています。特に力を入れているのは、遊びながら気づきや知識が自然と身につく、「知育」の要素を持ったゲームです。これまで開発してきた、遊びながら交通ルールや動物に関する知識が学べるゲームに加え、今後は専門家の監修を受けた「脳科学デジタル知育遊具」というゲームの枠に留まらない新たな領域へもチャレンジしていきます。

株式会社セガ
開発統括本部 第一研究開発本部
山田 篤広

お客さまの声にお応えする仕組み・体制


お客さま
お電話/メール
WEB
WEB
JMS※
ユーザーサポート窓口
家庭用ゲーム窓口
PCオンラインゲーム窓口
AM機器窓口
AM施設窓口
プライズ窓口
セガ公式サイト
セガへのご意見
サイト管理者へのお問い合わせ
公式コミュニティにおける発言
外部SNS
外部SNSにおける発言
SEGA
VOC（Voice of Customer）
SEGA
運営、営業、開発、品質保証、経営層etc.
製品・サービスへ反映
セガ公式サイトを介して回答（FAQサイトやコミュニティサイト等を通して）

※JMS:日本マルチメディアサービス（株）

• 公式サイトや外部SNSに入ったご意見はVOCを経由してJMSからお客さまに直接回答されるケースや、セガ公式サイトにて回答される場合があります

夢と感動をお届けする製品・サービスの提供

≫魅力溢れる製品を提供するための体制整備

開発・営業・生産部門の連携を強化し、品質管理の厳格化とマーケットの視点を取り入れた必然性あるヒット製品の開発体制を構築しています。製品の生産・供給体制においては、これまで以上にタイムリーな製品供給を可能とするために2012年に新工場を新設し生産能力を増強しました。また、新工場の隣接地には物流センターも新設し、保管能力の拡張・在庫管理の集約による生産流通体制の効率化を図りました。

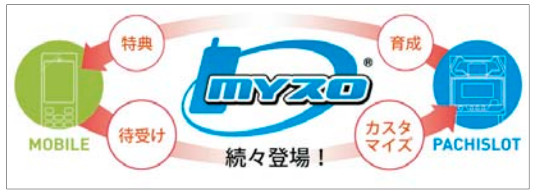
2012年9月より稼働している新工場

≫お客さま満足の追求

ユーザーの皆さまに魅力溢れる製品を提供することが最大の使命であり、それがホールの皆さまの満足にもつながるという考えのもと、斬新かつエンタテインメント性の高い製品の開発を追求しています。

また、より多くの皆さまに楽しんでいただける新しいサービスの開発にも取り組んでおり、携帯サイトとパチスロが連携したサービスの「マイスロ」はその一つです。現在では累計登録者数約159万人（2013年8月現在）を超えるユーザーの皆さまに支持をいただいています。

今後も、「サミーだからできる、サミーにしかできない」ものづくりやサービスを追求し、お客さまの満足はもとより、市場の活性化、業界の発展にも貢献していきます。


特典
育成
myslo
MOBILE
待受け
カスタマイズ
PACHISLOT
続々登場！

パチスロと携帯サイトが連携した新サービス

≫市場ニーズやお客さまの声を活かしたものづくり

市場やお客さまのニーズを的確に把握するため、様々な取り組みを行っています。ユーザーの皆さまに対しては、グループインタビューや商品評価アンケート等を実施し、開発に活かしています。ホールの皆さまについては、積極的なコミュニケーションとともに定期的な「ホールさま向けアンケート」を実施し、ニーズを迅速に捉えています。なお、カスタマーサポートセンターにいただいた声も、担当部門が収集・分析し、関係部門に迅速なフィードバックを行っています。

≫製品・サービスの安全・品質保証と品質問題発生時の対応

JIS規格をもとに独自の徹底した試験項目を定め、開発・量産それぞれの段階で評価試験を行い、検査結果を迅速に開発部門にフィードバックすることで不良率の低減に努めています。さらに、不適合品ゼロを目指し、お取引先（部材調達先）の不良率を週間、半期、年間でスコアリングし、管理しています。なお、不良が発生したお取引先には基準を満たすよう随時改善指導を行っています。今後も積極的な創意工夫と改善を効果的に行う品質保証活動によりお客さまの満足を得るという考えのもと、安全で良質な製品・サービスの提供に努めます。

なお、品質問題が発生した際は、定められた規程に基づき関係部署および経営トップに報告され、お客さま重視の迅速な対応とあわせて適宜情報を開示することとしています。

≫サミープレミアムメンバーズサイト／サミーカスタマーサポートオンライン

ホールの皆さまへ有用な情報をタイムリーにお届けするために、専用のメンバーズサイトを開設・展開しています。本サイトは、モバイル端末でも閲覧できるほか、遊技機のサービスマニュアルについては動画での対応も行っている点が、利便性が高いと評価いただいています。今後もコンテンツの充実とともに、お客さまの利便性の向上に努めます。

≫お客さま対応の充実

お客さまから寄せられる様々な声に対応するためにカスタマーサポートセンターを設置し、グループ会社の日本マルチメディアサービス（JMS）と連携し、迅速かつ丁寧な対応を行っています。ホールの皆さまへの対応としては、2005年12月より、他社に先駆けて平日のみならず、土日・祝日のサポート体制を構築し、サービスを行っています。2012年4月からは、サミーグループ4社（サミー、タイヨーエレック、ロデオ、銀座）の窓口を一本化し、ホールの皆さまの利便性向上を図りました。

また、サポート体制のさらなる向上に向けて、ホールの皆さまを対象に満足度調査を実施しており、2012年度は「非常に満足」「満足」と回答された方が全体の約8割となり、前年度の約7割から向上しました。

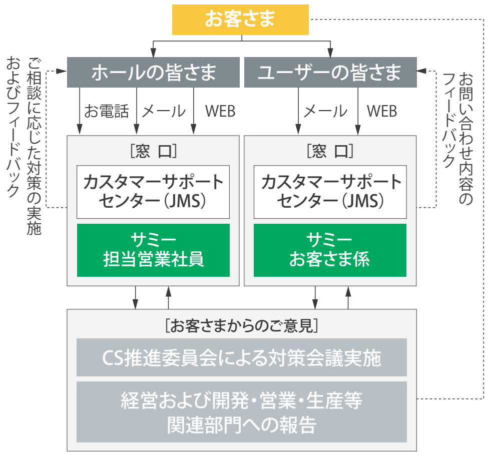
Topics

CS向上プロジェクト

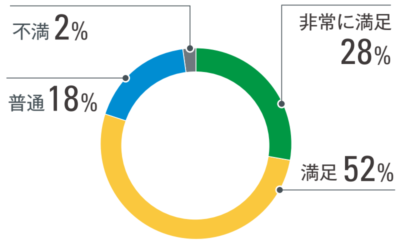
2012年度に、カスタマーサービス部とJMS合同の「CS向上プロジェクト」を立ち上げ、応答率の維持・向上やオペレーター教育研修、故障内容分析等の分科会を設け、お客さま満足度のさらなる向上に向けた取り組みをスタートしました。

今後もアフターサービスレベルの向上はもとより、お客さまのご意見を開発に積極的に活かしていきます。

お客さまの声にお応えする仕組み・体制


お客さま
ホールの皆さま
ユーザーの皆さま
お電話
メール
WEB
メール
WEB
［窓 口］
カスタマーサポートセンター（JMS）
サミー担当営業社員
［窓 口］
カスタマーサポートセンター（JMS）
サミーお客さま係
［お客さまからのご意見］
CS推進委員会による対策会議実施
経営および開発・営業・生産等関連部門への報告
ご相談に応じた対策の実施およびフィードバック
お問い合わせ内容のフィードバック
製品・サービスへ反映

カスタマーサポートセンターの利用に関する満足度調査の結果



安心して遊んでいただくための各種団体を通じた取り組み

≫健全な発展に貢献

私たちが持続的に成長するためには、業界の健全な発展も不可欠です。パチンコ・パチスロ業界では、依存問題や不正行為等の諸問題があることも事実です。これは、当社だけの問題ではなく、問題解決に向けて業界全体がベクトルを合わせていくことが重要と考えています。サミーは、業界団体が進める活動等に積極的に支援・参加することで、諸問題の解決とともに業界の健全な発展に貢献していきます。

≫依存問題への取り組み

現在、パチンコ業界では、のめり込み防止啓発活動を積極的に行っています。1996年に発足した「パチンコ・パチスロ産業21世紀会」では、依存の実態調査や過度な遊技を予防するための注意喚起、依存に起因する児童車内放置問題を撲滅するための活動、依存問題からの回復を支援する特定非営利活動法人の相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」を支援しています。サミーでは、本団体の活動に賛同し、支援協力を行っています。

≫不正防止対策

不正な方法で利益を得る、いわゆる〝ゴト行為〞を未然に防ぐため、不正対策室を設け、継続的に市場情報の収集を行う等して、不正に強い機械づくりに取り組んでいます。

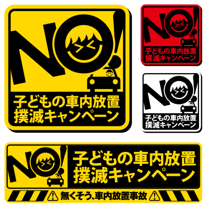
また、「日電協」と「回胴遊商」が合同で取り組む闇スロ撲滅に向けた活動にも積極的に参加しているほか、不法投棄や不正事案に対処するために「日電協」とともに、機歴管理にも取り組んでいます。

≫環境整備と健全化に向けた取り組み

より多くの皆さまに安心して遊んでいただけるホール環境の整備と健全化を推進する第三者機関として、2008年に設立された「一般社団法人遊技産業健全化推進機構」では、遊技産業からの遊技機および周辺機器の不正改造を根絶し、遊技産業の健全化を図るために立ち入り検査等を実施しています。サミーでは、本機構の活動に賛同し、支援協力を行っています。

パチンコは、適度に楽しむ遊びです。
ひとりで悩まず、お電話ください。
050-3541-6420
http://rsn-sakura.jp/
リカバリーサポート・ネットワーク

依存予防啓発ポスター


NO!
子どもの車内放置撲滅キャンペーン
無くそう、車内放置事故

児童車内放置撲滅啓発ステッカー

私たちは「闇スロ（違法賭博）」の撲滅に努めます。
健全な地域社会を守るため
闇スロ撲滅宣言
http://yamisulo.com/

闇スロ撲滅啓発ポスター

—グループ会社の取り組み—

株式会社セガ エンタテインメント

≫笑顔溢れる空間の創造

アミューズメント施設業界では、これまで以上にお客さまのニーズを敏感に素早く受け止め、それに合わせた業態・サービスへとスピーディーに転換を図ることが求められています。こうした中、2012年10月にセガのアミューズメント施設事業とセガサミーグループの施設事業にかかわる子会社のセガビーリンクとAGスクエアを分割統合し、セガ エンタテインメントを設立しました。これからも、各社が培ったノウハウを融合・発展させ、笑顔溢れる空間を創造していきます。

≫お客さま満足の追求

アミューズメント施設事業では、お客さまの満足を最優先に考えた接客を行うため、必要なスキルを身に付けるための社員教育に力を入れています。また、お客さまを飽きさせない工夫を追求したサービスの提供にも取り組んでいます。

「Bee」「BeeRUSH」「KABURA」のエンタテインメントダイニングバーを運営する飲食店施設事業では、より多くのお客さまに笑顔と感動をご提供するためのサービスやお店づくりに取り組んでおり、正確な技術とオリジナルカクテルの味や創造性を競う「カクテルコンペティション」は、お客さま満足とサービス品質の向上にもつながっています。

なお、両事業では各店舗における活動を表彰する『感動大賞』制度を制定し、社員のモチベーションアップはもちろん、お客さま視点での業務改善活動を強化しています。

［東日本 優勝者］Bee川崎店

［西日本 優勝者］Bee難波店

2013年6月に感動大賞を受賞したセガあべのキューズモール店
（アミューズメント施設事業）

≫青少年の健全な育成に向けた取り組み

アミューズメント施設事業では、業界の発展と健全な施設運営を実現するためには、青少年の健全育成の立場から青少年問題についての知識を深め、適正に対応することが重要という認識のもと、従業員が「AOU青少年アドバイザー」資格を取得することを推進しています。これまで多数の従業員が資格を取得し、各地域の方々と一緒になって青少年の指導・育成にかかわっています。また、業務運営マニュアルの中でも、未成年者の入場制限や喫煙に対する対応手法等を明確に示し、従業員教育も徹底しています。

飲食店施設事業では、アルコールを提供する事業者の責任として、未成年者の入店を全店で禁止し、ご入店時の年齢確認を徹底しています。但し、貸切りパーティー等では、未成年の方にもお越しいただいており、その際は未成年者であるかを識別するリストバンドをご提供し、サービスに誤りのないよう努めています。また、適正飲酒等に関する正しい知識を従業員に認識させるために、サービスマニュアルに適正飲酒に関連する内容を盛り込んでいます。

リストバンド

入り口の案内看板

≫安全・安心への取り組み

アミューズメント施設事業では、アミューズメント機器はもちろん、施設内の設備点検を徹底し、お客さまの安全の確保に努めています。設備点検については、看板や吹き抜け、照明設備等の落下危険箇所も含め、お客さまの安全にかかわる場所の総点検を年1回実施しています。また、多くのお客さまに安心して気持ちよく過ごしていただくために、分煙エリアの設置等も積極的に進めています。

自社で定める「100チェック」のリストに基づき、運営面、管理面の両面から自主点検を実施し、安全にかつ安心して楽しんでいただける環境確保に取り組み、不備事項への改善につなげています。また、飲食店施設事業においても同様の取り組みを実施しています。

株式会社セガネットワークス

≫スピード感ある事業展開で、マーケットの“Game Changer”に

スマートフォンやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の登場により、国内外の家庭用ゲームソフト市場を取り巻く環境は劇的な変化を続けています。こうした中、多様化するお客さまのニーズにスピーディーかつ的確に応えるために、2012年7月にセガのネットワーク事業の主要機能を会社分割するかたちでセガネットワークスを設立しました。これまでセガが長年培ってきたブランド力と開発力を土台に、時代の変化に対する感度を高め、積極果敢に挑戦することで、ゲームを通じてゲームそのものの在り方や業界、世の中を変えることができる〝Game Changer〟を目指し、世界中の人々に感動体験をお届けしていきます。

担当者の声

ゲームを通じて世界中の人々に感動体験を！

日進月歩で変化を続けるSNSやスマートデバイス向けのゲームコンテンツ市場の中で、私たちはとにかく「世界中の人に面白いゲームを通して感動体験を届けたい」という想いで取り組んでいます。変化が激しい業界ゆえに、大変なことや葛藤もありますが、その変化を毎日楽しみながら、今日はこんなことが、明日はこんなことがあるとワクワクドキドキしながら取り組んでいます。これからも一人でも多くの方に面白いゲームをお届けするべく、積極果敢にチャレンジし続けます。

株式会社セガネットワークス
国際事業開発部
伊藤 真人

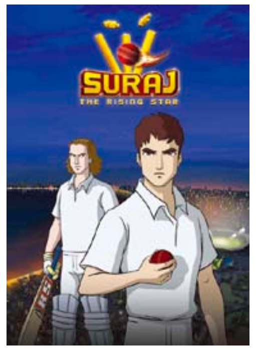
株式会社トムス・エンタテインメント

≫日本のアニメ文化を世界へ展開

「それいけ!アンパンマン」や「名探偵コナン」、「ルパン三世」等のアニメーション制作を手がけるトムス・エンタテインメントでは、日本のスポ根アニメの名作「巨人の星」のインド版作品『スーラジ ザ・ライジングスター』をインドのアニメーション制作会社DQ Entertainmentと共同で製作し、2012年12月23日から放映を開始しました。

物語の舞台設定を日本からインドに、題材である野球をクリケットへと変更したローカライズ版です。また、本作はインドに現地法人を置く日系企業5社が番組スポンサーとなり、放送地域における日本製品の普及活動を行うなど、〝クール・ジャパン〟と〝メイド・イン・ジャパン〟が組み合わさった新たな取り組みであることも特徴です。

今後も、共同パートナーである講談社、博報堂との連携を強化しながら、インドを皮切りにワールドワイドの多角的な展開を目指すとともに、世界の人々に夢や感動をお届けしていきます。



『スーラジ ザ・ライジングスター』キービジュアル

原作／梶原一騎・川崎のぼる『巨人の星』（講談社）
Ⓒ 梶原一騎・川崎のぼる／講談社・ライジングスター製作委員会

Topics

子育て支援アプリ“ベビーコール”を2012年11月から提供しています

本サービスは、妊娠中から6歳までの子育て中の夫婦が対象で、月齢に応じて考えておくべき子どもの発達や食事のこと、住んでいる自治体の子育て支援サービス情報等が、赤ちゃんからのメッセージとして届きます。夫婦で登録いただくと、二人で同じ情報をアプリで共有することができ、直接話す時間が取れない時でも子育てに関する情報共有が簡単にできます。また、家族心理学に基づいた夫婦の相性診断テストなど、夫婦に役立つコンテンツも充実しています。

核家族化や少子化の傾向が続く日本において、本サービスを通じて、育児不安の軽減や夫婦間のコミュニケーションの活性化に貢献すべく、コンテンツの充実を図っていきます。

監修者:神奈川県立保健福祉大学　生田 倫子
コンテンツ制作協力:babyco編集部、内閣府認証 NPOひまわりの会

ベビーコール
Baby Call

株式会社セガトイズ

≫製品の安全と品質保証

玩具の開発・製造・販売を行っているセガトイズでは、「お客さま重視」と「製品安全の確保」を経営の最優先事項に掲げ、製品安全に関する基本方針に基づいた自主行動計画を策定・推進し、製品の安全確保と品質保証に努めています。製品安全を確保するため、常に適正な品質管理を行うとともに、一般社団法人日本玩具協会の玩具安全基準・玩具安全マーク制度を活用しています。

≫共遊玩具や知育玩具への取り組み

セガトイズでは、たくさんの皆さまに玩具で遊び、楽しんでいただくために共遊玩具や知育玩具への取り組みを積極的に進めています。

共遊玩具とは、目や耳の不自由な子どもたちも一緒に楽しく遊ぶことができるように配慮された玩具のことで、当社では、商品の企画・開発段階から形状や音等への工夫を盛り込むようにしており、現在では8点の共遊玩具を販売しています。

日本おもちゃ大賞
2013
キャラクター・トイ部門
優秀賞

日本おもちゃ大賞2013のキャラクター・トイ部門で優秀賞を受賞した
「アンパンマン いらっしゃいませ!ジャムおじさんのやきたてパン工場」
ⓒやなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

日本おもちゃ大賞
2012
エデュケーショナル・トイ部門
優秀賞

日本おもちゃ大賞2012のエデュケーショナル・トイ部門で優秀賞を受賞した
「アンパンマン 英語もしゃべるよおしゃべりいっぱい! ことばずかんDX」
ⓒやなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

タイヨーエレック株式会社

≫製品づくりからアフターサポートまで、お客さまの満足を追求しています

サミーとともにパチンコ・パチスロ事業を展開するタイヨーエレックは、遊び心と独創性に溢れるメーカーとして、お客さまのニーズを徹底調査した上での企画立案（マーケティング）、新規性への積極的な挑戦（チャレンジ）、革新的要素（イノベーション）をコンセプトに、お客さまの期待を超える製品づくりを目指しています。また、2012年4月からは、ホールの皆さまからの部品の注文受付や故障などへの対応を強化するため、サミーカスタマーサポートセンターでの対応を開始しました。今後も、製品づくりからアフターサポートまで、さらなるお客さまの満足を追求していきます。

4月1日
サミーカスタマーサポートセンター受付対応開始!

日本マルチメディアサービス株式会社

≫お客さま視点での業務改善活動を強化しています

コールセンターやバックオフィス等の運営サービスを行っている日本マルチメディアサービスでは、「サービス・品質方針 "Heart and Science"」を制定し、サービス品質の向上に向けた取り組みを強化しています。具体的には、お客さまのご要望を改善に活かすための月例報告会を設け、委託先さまと課題や改善事項を共有しているほか、オペレーターのサービス品質向上のために業務プロセスごとの年度目標、数値目標を設定し、定期的なモニタリングやスキルアップのための研修を実施するなど、継続的な品質の向上に努めています。

また、お客さまに安心してコールセンターやカスタマーサポートのアウトソーシングをご依頼いただけるよう、災害リスクと事業継続計画（BCP）の観点から、立地・設備を検討し、耐震性・非常用電源装置の整ったコールセンター設備を保有しています。今後もより良いサービスを提供するために、常にお客さま視点での業務改善活動を行っていきます。

お取引先とともに

With Partners

CSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、
互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、
ともに夢と感動溢れるエンタテインメントの提供を目指します。

私たちにとってのお取引先とは

仕事を通じて同じ目的を目指し、互いに切磋琢磨する良きパートナーと考えます。清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境という多角的な視点で、お取引先を選定する基準や体制をグループ全体で整えると同時に、お取引先のご理解・ご協力を得ることで、相互信頼の上に公平・公正で良好な関係を築いていきます。そのために私たちは幅広く情報収集し、お取引先に伍した知識と判断力を持ち、お互いに適切な情報を交換し合いながら、夢と感動溢れるエンタテインメントの提供をともに目指します。

グループ行動規範

「公正な関係」「公平な選定」

❶ お取引先との関係は、常に清廉・透明・公正なものとし、もたれ合いや癒着と誤解されるような行動は、一切行いません。

❷ お取引先の選定については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力等を総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断します。

❸ グループ会社とも、透明で公正な取引を行います。

「接待・贈答」

❹ お取引先に接待・贈答を行う場合は、社内で定められたルールに従うだけでなく、社会的常識に照らし合わせ、節度を保ち、適切に判断し、実行します。

❺ 政治家、公務員（法人・団体の役職員であってみなし公務員とされる者を含む）、外国公務員等国内外の法令により禁止されている者に対して、贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられる行為を行いません。

「個人利益」

❻ お取引先とは、立場を利用して利益や便宜の供与を受ける等の個人的利益の追求を行いません。

『パンダコパンダ』
©TMS

SEGA —セガの取り組み—

公正な取引の徹底

»公平・公正な取引

グループ行動規範に基づき、儀礼廃止や金品の贈与、接待等を行わない旨をお取引先に書面で通知することで、取引関係の清廉性の維持を表明しています。また、社内規程に基づく継続的なお取引先の評価・選定および管理を複数部門による審査のうえ行っています。

»下請法遵守体制の強化

2009年4月に設立した下請法遵守を推進する委員会により、下請法違反の防止や啓発を行うとともに、管理面の強化を図っています。2012年度も業務上、下請取引が発生する部門を中心に11回の説明会を実施し、社内イントラネット上の専用WEBサイトも活用して、必要な知識の習得や遵法意識の向上に努めました。

お取引先との連携強化

»お取引先とのパートナーシップの構築

世界中の人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供するためには、開発・生産や販売等、あらゆる場面でお取引先との連携が必要です。当社ではCSR憲章の考え方に基づき、お取引先は同じ目的を目指して互いに切磋琢磨する良きパートナーと考え、永続的なパートナーシップの構築に努めています。

»生産パートナーとの協働

自社に製造工場を持たないファブレス型の生産体制の当社にとって、生産パートナーとの協働はとても重要です。サプライヤーとしての連携に加え、品質目標に基づく工場監査や組み立て指導等を定期的に実施し、品質向上、生産効率の向上に取り組んでいます。

»サプライヤーとの連携

サプライチェーン全体で製品の安全性や品質を確保するため、サプライヤーミーティングとコミュニケーションシステム（BATON）による円滑な情報共有を通じ、サプライヤーとの連携強化に努めています。

サプライヤーミーティングの様子

担当者の声

パートナーとWin-Winの関係を構築し、ともに持続的な成長を

私たちの部署では、主にクレーンゲーム機向けの景品の企画から開発までを一貫して行っています。そのため、多くのパートナーとの緊密な連携が不可欠です。版権元さまとは何度も打ち合わせを重ねて、キャラクターの魅力を最大限活かした企画とその人気を持続させる戦略的な展開を一緒に考えます。また、生産におけるパートナーの多くは海外ですが、現地にて安全性と品質のチェックを重ねることで技術力向上のお手伝いをしています。常に新鮮で魅力ある商品をお客さまに提供しながら、多くのパートナーとともに持続的な成長ができるWin-Winの関係を築いていきたいと思います。

株式会社セガ
アミューズメント事業統括本部 マーチャンダイジング部
叶多 弘和

ⓒ'08, '13 SANRIO/SEGA TOYS　サンリオ・セガトイズ/ウィーヴ・テレビ東京・ジュエルペット製作委員会
ⓒ 2013 Peanuts Worldwide LLC　日本のスヌーピーの公式サイトはwww.snoopy.co.jp
ⓒaki kondo/SCP　ⓒ乃木坂46 LLC　ⓒAKS　ⓒ角川書店　ⓒGREE, Inc.　ⓒしげの秀一/講談社　ⓒSEGA

»販売店、パートナーメーカーとの取り組み

セガの家庭用ゲームソフトの魅力を直接お客さまにお伝えするため、販売店の店頭をタッチポイントとして位置付け、製品とお店の特性に合わせた店頭販促やイベント、キャンペーンを企画して全国規模で展開しています。

また、その全国規模の販売網の強みを活かして営業・流通組織を持たない他のゲームメーカーの製品も積極的に取り扱っています。そして、各メーカーを我々のパートナーとしてセガ製品と同様に細やかな販売サポートを行いながら、常にお客さまに優良なゲームソフトをお届けできるようにしています。

今後も引き続き、販売店店頭を中核として販売店・パートナーメーカーとの協力関係を強化して活動していきます。

店頭でのイベント・キャンペーンの様子

»海外パートナーとの協力

海外での事業においては、各国の法令遵守はもとより、文化や習慣に十分配慮することが重要であり、現地の事情に精通する現地企業との良好なパートナーシップ構築に努めています。

特にアミューズメント機器は販売後のメンテナンスやアフターフォローが重要なため、現地のディストリビューターとの緊密な協力関係のもとでしっかりとしたサービス体制を築いています。近年ではこの体制を活かし、当社がディストリビューターとしてセガの製品と同じように海外メーカーの機器の販売を行い、高品質なアミューズメント機器を世界に広くお届けしています。

ⓒKOMUSE

ヨーロッパを中心にアミューズメント機器の販売を担うSega Amusements Europe Ltd.の主力製品『KEY MASTER』は、韓国のKOMUSE社が開発しました。2011年の発売以来、その直感的でシンプルなゲーム性から欧米で大変高い支持を得ているアミューズメントマシンです。

Topics

セガのゴルフ練習用機器

セガは2010年より、これまで培ったゲーム開発のノウハウや技術を活かしたゴルフ練習場向け製品を提供しています。簡単な操作で、楽しみながら上達効率の高い練習ができるため、ユーザーより高い評価をいただき、全国各地のゴルフ施設で急速に導入が広がっています。

ⓒSEGA

パートナーからのメッセージ

担当者の声

想いを共有できる良きパートナー

セガ社とのお取引のきっかけは、2012年2月に実施した当施設の大規模リニューアルを検討していた時でした。お客さまにご満足いただくためにはどうすれば良いか、お客さまにゴルフをもっと好きになってもらうには何が必要かと考えていた折、新山さんと出会いました。はじめは「何故セガがゴルフを?」と思っていましたが、ゴルフやスポーツ振興への情熱に相通じる部分が多く、自然と想いを共有できるパートナーとなっていきました。時に厳しいことをいう場面もありましたが、妥協せず最善策を見出そうとする彼の姿勢は本当に素晴らしく、一緒に仕事ができて良かったと思っています。課題ややりたいことはまだたくさんありますので、これからも良きパートナーとして、互いに切磋琢磨していきたいと思います。

東急スポーツシステム株式会社
運営推進部ゼネラルマネージャー 兼 東急嶮山スポーツガーデン総支配人
堀内 俊之 様（写真左）
（東急嶮山スポーツガーデンは、2013年10月1日より東急あざみ野ゴルフガーデンへ名称変更されます）

ともにお客さまの笑顔を追求していきます

堀内さまと出会って約2年。パートナーとして本音をぶつけ合うことの大切さ、常にお客さまの目線に立って考える姿勢など、堀内さまには本当に多くのことを学ばせていただきました。お客さまの満足にゴールはありません。これからもご期待に応えられるよう努力を重ね、お客さまの笑顔を一緒に追求していきたいと思います。

株式会社セガ
アミューズメント事業統括本部 市場開発営業部
新山 直樹（写真右）

Sammy —サミーの取り組み—

公平・公正な取引の徹底

»公平・公正な取引とお取引先さま相談窓口の設置

購買活動全般において公平・公正性を保ち、お取引先との相互協力・信頼関係を構築していくこと等を明記した購買方針を定めるとともに、直接の取引を担当していない第三者部門（内部統制室）による購買実績のモニタリングを行うことで、公正性の確保に努めています。

また、お取引先との相互信頼と清廉性に則った健全な取引を維持していくことを目的に、相談窓口として社内外に「サミー企業倫理ホットライン」を設置しています。相談を受けた場合は、お取引先が不当な扱いを受けることが無いよう中立的な立場であるコーポレート本部が対応し、担当役員が責任を持って処理を行います。

»取引先選定基準とCSRに配慮した取引の推進

購買外注管理規程、お取引先口座管理規程など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規お取引先の選定においては、複数部門による審査を実施し、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。なお、新規取引開始の際は、「清廉性について」の書面をもとに、直接管理職より関連する内容を説明しています。

また、購買取引においては、「グループCSR憲章」「グループ行動規範」に基づき、清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境などに配慮した購買活動を推進し、サプライチェーン全体でCSRに配慮した取引を進めています。

»下請法遵守体制の強化

下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、社内教育の強化を図っています。2012年度は、人事制度上の業務の中枢を担う等級への昇格者を対象とした研修を4回実施し、42名が参加しました。また、下請法に関する認識が薄れないよう、常に社内イントラネット（下請法WEB）にて定期的に情報発信し、発注から支払までの事務処理をシステム化することで、人的ミスによる下請法違反を防止する措置を講じ、継続的に下請法の遵守と意識向上が図れるよう努めています。

mossnet
Sammy
第38期
プレジデントカンファレンス
SAKURA
インフォメーション

2010年に社内イントラネット上に開設した専門サイト「下請法WEB」

Topics

取引の清廉性に関する考え方をお取引先に改めて説明

セガサミーグループは「コンプライアンスを意識した適切な企業活動」を実践し、法令や社会規範を遵守することを宣言しています。サミーでは、2013年3月にお取引先に対して、改めて取引の「清廉性」についての考え方をお伝えするとともに、当社の役員・社員がコンプライアンスに反した場合にご指摘いただき速やかに是正できるよう、「サミー企業倫理ホットライン」制度の周知と活用をお願いしました。

お取引先とのパートナーシップの強化

»品質向上と業務改善に向けた連携強化

現場・現物・事実の掌握を基本に、お取引先との情報交換や意見交換等の機会を積極的に設け、品質向上・業務改善に向けたパートナーシップの強化に努めています。

2011年度からは、二次調達先を含めたお取引先の品質管理等の状況を調査、掌握することを徹底し、必要に応じて改善をお願いする等、これまで以上に品質管理の徹底を図るとともに、事業継続や製品の安定供給の視点から監査内容等の見直しも図っています。今後も、現場・現物・事実の掌握を基本に、お取引先との対話を重視し、品質向上・業務改善に向けたパートナーシップの強化に努めます。

株主·投資家とともに

With Shareholders and Investors

CSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、
継続的な成長·企業価値の最大化を目指します。
そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示を通し、
透明な経営を図り、株主·社会の期待に応えます。

私たちにとっての株主·投資家とは

適時的確な経営情報の開示と適正な株主還元の実施を、経営の重要課題とします。
斬新なアイディアに基づく商品開発、安定供給を可能にする生産体制、緻密なマーケティングに基づく販売計画と目先の利益にとらわれない営業姿勢、そして、透明性·信頼性の高い管理体制を整え、株主·投資家の皆さまの信頼に応えます。また、株主·投資家との様々な双方向コミュニケーション活動を通じ、経営情報を的確に伝達すると同時に、皆さまからのご意見を収集し、経営へのフィードバックを行います。

グループ行動規範

「透明性の高い経営」「双方向コミュニケーション」

❶ 法令その他のルールに則り、会社情報を適正かつ公正に開示し、経営の透明性の確保に努めます。
❷ 株主の声に積極的に耳を傾け、双方向性のある対話型コミュニケーションに努めます。

「積極的かつ公平な開示姿勢」

❸ 投資家の理解に資する会社情報の積極的な開示に努めます。
❹ 全ての投資家と公平に接し、会社情報の偏在防止に努めます。

「適正な利益還元」「企業価値の最大化」「永続性」

❺ 効率的な資産運用と、適正な利益還元を行います。
❻ 世界の情勢や動向に常に目を配り、社会の期待に応えながら、企業価値の最大化と継続的な成長を目指します。

「インサイダー取引」

❼ インサイダー取引に関する法令·社内規程·ルールを遵守し、未公表の重要事実を厳格に取り扱います。

『ソニック·ザ·ヘッジホッグ』
©SEGA

株主・投資家への情報開示と適正な利益還元

≫情報開示の基本方針

セガサミーグループは、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動等の情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。

また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えうるものは、積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社Webサイトでも開示します。

≫開かれた株主総会の実践

ホールディングスは、より多くの株主の皆さまに定時株主総会に出席していただけるよう、集中日を避け、収容人数に配慮して会場を決定しています。2013年6月の総会には、1,356名の株主の皆さまにご出席いただきました。今後も、ご意見やご質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営等を心がけていきます。

≫株主の皆さまへの利益還元

セガサミーホールディングスでは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。

株主・投資家とのコミュニケーションの充実

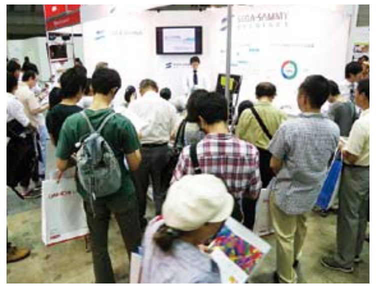
≫コミュニケーション方針

セガサミーグループは、株主・投資家の皆さまとの様々な双方向コミュニケーション活動を通じて、当社の経営情報を的確に伝達すると同時に、投資家の皆さまからの経営に対する貴重なご意見を収集し、経営へのフィードバックを行っています。

≫IR活動

ホールディングスでは、国内外における投資家向け説明会の実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお答えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。また、国内外の機関投資家や証券アナリストに対して決算説明会を半期に1回開催し、四半期決算に関してはテレフォンカンファレンスを実施しています。

さらに2012年度は、「日経IRフェアSTOCK WORLD」※に初出展し、当社展示コーナーへお越しいただいた個人投資家の皆さまに当社グループの特徴等をご説明させていただきました。その場でいただいた貴重なご意見・ご質問をもとにさらなるIR活動の強化と個人投資家の皆さまへの理解促進に努めていきます。


日経IRフェア

Topics

IR活動に対する評価

セガサミーホールディングスのアニュアルリポートは、日本経済新聞社の「日経アニュアルリポートアワード2012」において、業界や企業への理解促進を図りファンを増やすための工夫や、自社の状況を分かりやすく表現している点などが評価され、佳作に選出されました。

また、当社ホームページにおいては、日本で最も歴史のあるIRサイト評価・表彰制度である大和証券グループの大和インベスター・リレーションズ株式会社の「インターネットIR表彰」で優良賞に入賞しました。

今後も株主・投資家の皆さまへのさらなる情報提供の充実を図っていきます。

Web ≫IRサイト
http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/index.html

The Facts
Reviewing the Past,
Confirming the Present,
and Building the Future.
アニュアルレポート2013表紙

※個人投資家の方々に対し、資産管理と投資に必要な知識や情報を提供することを目的に毎年開催されているイベント

従業員とともに

CSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神が
グループ発展の源であり、最大の財産です。
私たちは、社員が持つ限りない可能性を最大限発揮できる
企業文化を育み、ともに成長していきます。

私たちにとっての従業員とは

会社にとって最も大切な財産は社員であり、また、社員の持つ創造性とチャレンジ精神は、グループ発展の源です。社員がそれぞれの可能性を最大限に発揮させるためには、安心して働ける職場環境が必要です。相手の人格を尊重して誠実に接し、必要なコミュニケーションを取ることで、お互いの良さが引き出され「働きがい」、「やりがい」のある快適な職場が生まれます。このような意識を持ち、お互いのニーズを感じながら仕事を進めていくうちに社内コミュニケーションは向上し、おのずと個人の仕事も会社全体の仕事の質も向上していきます。

グループ行動規範

「職場環境の整備」

❶ 社員の安全と健康に配慮し、安心して勤労できる職場環境を構築します。
❷ 社員が個々の能力を十二分に発揮し得る、「働き甲斐」「やり甲斐」のある柔軟性に富んだ会社にします。

「ハラスメント」「差別」

❸ セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、プライバシー侵害等、職場環境を乱す行為は行いません。
❹ 人種･信条･性別･年齢･障害･学歴･門地等を理由とした、雇用機会や待遇の均等を損ねる差別行為は行いません。

人権の尊重と差別の禁止

セガサミーグループでは、人権の尊重が従業員をはじめとしたあらゆるステークホルダーとの関係構築において最も基本的な事項であると考えています。「グループ行動規範」には、人権尊重の基本的な体制と、人種･信条･性別･年齢･障がい･学歴･門地等を理由とした、雇用機会や待遇の均等を損ねる差別行為を行わないことも定めています。

『ぷよぷよ』
©SEGA

社会性の高い人材の育成のために

»人事制度・処遇

社員のキャリア形成支援とプロ意識の向上につなげるため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と自分の知識や技術を活かしていく「プロフェッショナル職」のコース選択を可能にしています。

また、人事制度の適切な運用に不可欠である公正な評価の実現のため、管理職全員に評価者研修を実施しています。そのほかにも社内公募制度等、社員一人ひとりがその力を存分に発揮し、何ごとにも挑戦しようとする自律した企業風土づくりに努めています。

»教育・研修制度の充実

会社の持続的な成長および事業成功を目指し、階層別の教育研修を実施しています。

例えば新入社員に対しては当社で活躍する上で必要となる知識・スキルを提供するとともに新入社員自身の自己実現に向けた意識の醸成を図る等、執行責任者から若手層までの各レイヤーに対して、個別に定義した〝求められる能力〟の強化に資するプログラムを提供しています。

さらに社員の自発的な能力向上への取り組みを助けるために、通信教育講座の受講料や各種検定の受験費用の一部補助を行う制度を設けています。また、自己啓発を希望する社員が適切な教育メニューを受けられるよう外部の教育サービスとも提携しています。

多様性と機会均等

»多様な人材の活用と採用

性別・国籍等の区分けの無い採用を実施し、入社後には導入研修を行いスムーズな配属を支援しています。なお、正社員においては、入社3ヶ月経過時点で勤務評定・人事面談を行い、配属先でのフォローに活用するほか、以降の採用の参考としています。

»障がい者や高齢者の雇用

障がい者雇用については、各部門に障がい者職業生活相談員の配置を進め、定期的な面談を実施し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

また、定年を迎えた高年齢者もそれまでの雇用形態の基準に従って再雇用を行っています。

人事関連データ

		2010年度	2011年度	2012年度
新卒採用数	男性／女性	14名／4名	17名／5名	17名／4名
	合計	18名	22名	21名
中途採用数	男性／女性	2名／2名	31名／1名	65名／16名
	合計	4名	32名	81名
社員数（受出向者含む・出出向者除く）	男性／女性	2,145名／292名	2,220名／309名	1,929名／279名
	合計	2,437名	2,529名	2,208名
平均勤続年数		10年8ヶ月	8年1ヶ月	7年3ヶ月
管理職数		343名	345名	247名
全社員に占める管理職数の割合		14.1%	13.6%	11.2%
女性管理職数		13名	12名	11名
全管理職に占める女性管理職数の割合		3.8%	3.5%	4.5%
育児休暇取得者数	男性／女性	1名／10名	2名／14名	0名／13名
	合計	11名	16名	13名
介護休暇取得者数	男性／女性	0名／0名	0名／0名	0名／0名
	合計	0名	0名	0名
有給休暇取得率		41.5%	41.4%	47.5%
労働災発生件数（通勤時・勤務時合算）		64件	40件	38件

ワークライフバランスの推進

»仕事と家庭の両立支援の拡充

仕事と家庭の両立を図ることができるよう、育児・介護休暇制度等を設け支援しています。出産・育児休暇の取得前には、取得者および上長に対し、育児制度や諸手続きについて人事担当者が説明するほか、育児相談窓口や子育て情報を交換できる「子育て広場」という掲示板の設置等、施策の浸透・拡充に取り組んでいます。また、イントラネットに掲載される最新の会社情報は、休業中も自宅から閲覧可能であり、スムーズな職場復帰を実現しています。

また、社員が積極的に社会貢献活動に参加することができるようにボランティア休暇制度を設けるほか、長時間労働の削減や有給休暇の取得促進にも取り組んでいます。

育児・介護に関する制度

育児	育児休業制度	子が1歳に達するまで利用可能。 父母ともに育児休業を取得する場合は、1歳2ヶ月に達するまで利用可能。 保育所の入所が困難な場合は1歳6ヶ月に達した日以降最初の4月の保育所入所日まで利用可能。
	育児短時間勤務	子が小学校就学までは1日につき最長2時間の勤務時間を短縮可能。 小学校就学後、小学校3年生までは1日につき退勤時間を最長1時間短縮可能。 また、3歳に達するまで給与控除を行わない。
	子の看護休暇	子が小学校に就学するまで一人につき年間5日、二人以上は年間10日利用可能。保存有休を保有している場合は、保存有休を充当可能。
介護	介護休業制度	1要介護家族につき通算93営業日内で利用可能。 （介護短時間勤務を含む）
	介護短時間勤務	1要介護家族につき通算93営業日内で1日につき最長2時間の勤務時間を短縮可能。
	介護休暇	1要介護家族につき年間5日、二人以上は年間10日利用可能。 保存有休を保有している場合は、保存有休を充当可能。

働きやすい職場環境づくり

»健康管理・増進体制の強化と労働安全の取り組みの推進

定期健康診断や人間ドック受診補助、また家族も利用可能な健康相談窓口（EAP）を設けているほか、産業保健スタッフの常駐、および内科・精神科医、保健師への相談が可能な健康管理センターを設置する等、社員の健康維持・増進を支援する体制を整えています。

また、安全衛生委員会を毎月開催し、委員会の議事録を含む安全・衛生にかかわる各種情報を社内WEBサイトに掲載し、社員への注意喚起と周知に努めています。

»福利厚生の充実

毎年付与されるポイントで様々なサービスを利用できる「セガマイレージ制度」やセガサミーグループ保養所など、社員が心身をリフレッシュし仕事への英気を養えるような様々なサービスを用意しています。

また、財産形成の目的に応じた財形貯蓄制度等の社員の生活を支援する制度も設けています。

担当者の声

コミュニケーションの活発なオフィスを目指して

2012年度は本社オフィスの移転があったため、この機会に「ワークスタイルの変革」を目指し、システム面から職場環境の改善を進めました。

この改革に際して重視したのは、仕事の根本であるコミュニケーションをより活性化させることです。ネットワークの無線LAN化に加え、PC上で音声・ビデオ通話やインスタントメッセージ、在席情報の確認、デスクトップ共有なども可能な「リアルタイムコミュニケーションシステム」を導入したことで、コミュニケーションの幅を大きく広げました。また、無線LAN化は一部の部門で採用したフリーアドレス制の導入を後押ししたと同時に、ペーパーレス会議の実現にもつながりました。

システムは導入するだけでなく、使いこなせてこそ価値が高まるものです。引き続き従業員とコミュニケーションを取りながら、より働きやすく、モチベーションアップにもつながるような職場環境づくりを進めていきます。

株式会社セガ
コーポレート本部 情報システム部
目﨑 竜一郎

人事の基本的な考え方と働きがいの向上を目指して

≫全社員に「プロ意識」を強く持たせる人事制度

社員一人ひとりがプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、主体的なキャリア選択を提供する自己選択型の制度を整備し、「マネジメントコース」と「プロフェッショナルコース」を設けて専門性の確立と役割の明確化を図っています。2012年度は新人事制度を導入し、社員一人ひとりに求められる役割を明確にすることで、その役割に対する成果貢献に応じた適正な処遇を行い、社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。

また、年1回、担当する職務についてのやりがいや満足度と将来的にチャレンジしたい仕事（異動希望）を申告できる自己申告制度を実施しています。これにより社員一人ひとりの育成やチャレンジする意欲をサポートし、より適切な人財配置に役立てています。

≫社内表彰制度の実施

社員の優れた成果を称え、社員のモチベーション向上につなげることを目的に社内表彰制度を設けています。これは、社員が業務プロセスで実行した改善活動や新たに創出した開発、営業成績等に対し、優れた成果を「社長賞」として表彰するものです。2012年度は、8案件、のべ69名が表彰されました。

≫体系的な教育研修制度の充実

「一人前としての能力を習得するまで、組織は責任を持って育成する」という人財マネジメントポリシーに基づき、入社後それぞれの階層における研修プログラムを整備し、能力開発の機会を提供しています。2010年度以降は、これまで階層ごとに実施していた研修をさらに細分化した等級ごとの研修として内容のリニューアルと充実を図っています。

階層別教育研修体系

管理職	労務管理・メンタルヘルス等の基礎知識の習得	新任管理職	4日
管理職候補	将来の管理職候補の育成	管理職候補	2日
	上位職に求められる能力を明確にする		
リーダー	経営感覚・ビジネス感覚を養う	リーダー	2日
	次期リーダーとしてのマインドアップを図る		
中堅社員	他者とのかかわりに視点を置いた業務遂行スキルの習得	中堅3年目	1日
	プロとしての意識と自覚を高める	中堅1年目	3日
新入社員	期待される役割の理解と社会人としての基礎力習得	入社3年目	3日
	自己のたな卸し、基本姿勢とビジネススキルの振り返り		
	新人フォロー研修	新人フォロー	3日
	新入社員研修	新入社員	1ヶ月

人事関連データ

		2010年度	2011年度	2012年度
新卒採用数	男性／女性	6名／0名	14名／2名	39名／2名
	合計	6名	16名	41名
中途採用数	男性／女性	15名／1名	30名／3名	33名／3名
	合計	16名	33名	36名
社員数（受出向者含む・出出向者除く）	男性／女性	943名／105名	959名／105名	995名／110名
	合計	1,048名	1,064名	1,105名
平均勤続年数		8年1ヶ月	8年8ヶ月	8年4ヶ月
管理職数		261名	253名	247名
全社員に占める管理職数の割合		24.9%	23.8%	22.4%
女性管理職数		2名	2名	1名
全管理職に占める女性管理職数の割合		0.8%	0.8%	0.4%
育児休暇取得者数	男性／女性	1名／10名	4名／13名	1名／18名
	合計	11名	17名	19名
介護休暇取得者数	男性／女性	2名／1名	0名／0名	0名／0名
	合計	3名	0名	0名
有給休暇取得率		62.8%	57.1%	57.4%
労働災害発生件数（通勤時・勤務時合算）		10件	7件	6件

働きやすい職場環境づくり

≫ワークライフバランスの推進

次世代育成支援対策推進法に基づき、育児・介護に関して法定以上の制度を定めています。例えば、子の出産後、特別休暇に加え最大4日まで有給休暇を取得できるHello Baby休暇制度や、小学校3年生の子まで対象を拡大した育児短時間勤務制度の導入等、仕事と子育ての両立を目指す社員を支援し、働きやすい職場環境を提供しています。また、労働時間短縮の取り組みとして、有給休暇取得促進に関する制度（リラックスホリデー）を導入しています。こうした取り組みの結果、2007、2009、2011年において次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主として認定されています。

≫障がい者雇用の推進と定年退職者の再雇用

障がい者雇用に関しては、公共職業安定所および人材サービス会社主催の合同面接会へ参加し、積極的な採用活動を行っています。また、定年退職者の再雇用については、「高年齢者雇用安定法」改正に基づき、2006年より定年再雇用制度を導入、制度導入後現在にいたるまで、希望者全員を最長5年間再雇用しています。

≫安心して働ける環境づくり

ケガや病気で働けなくなった際の所得補償として、長期収入サポート制度（団体長期障害所得補償保険（GLTD））を2011年4月より導入しました。会社にとって最も大切な財産は社員であり、働けなくなるリスクの一部を会社が補償する制度を導入することで、社員が「安心して働ける環境」の実現につなげています。

≫労働安全への取り組み

社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。川越工場では、社員自らが身のまわりに潜む危険要因をチェックし、都度改善する「6Sパトロール※」活動を行う等、各職場の業務特性や実情に沿った取り組みを推進しています。2012年度の労働災害発生件数は6件あり、勤務内災害が発生した職場では改めて原因を究明するとともに改善策を講じています。

育児・介護に関する制度

育児	育児休業制度	子が1歳に達するまで利用可能。 父母ともに育児休業を取得する場合は、子が1歳2ヶ月に達するまで利用可能。 （要件を満たす場合、最長2歳6ヶ月に達するまで延長可能）
	育児短時間勤務	子が小学校就学するまでは、1日につき最長2時間の勤務時間を短縮可能。 小学校就学後、小学校3年生までは1日につき最長1時間の勤務時間を短縮（早退）可能。
	子の看護休暇	子が小学校に入学するまで、一人につき年間5日間、二人以上の場合は年間10日間利用可能。積立年休を保有している場合は、積立年休を利用可能。
介護	介護休業制度	1要介護家族につき通算93営業日以内で取得可能。 （介護短時間勤務含む）
	介護短時間勤務	1要介護家族につき通算93営業日以内で取得可能。
	介護休暇	短期介護休暇（要介護者一人につき年間5日間、二人以上の場合は年間10日間利用可能） 長期介護休暇（積立年休を保有している場合、その限度内で利用可能）

≫メンタルヘルスケアの推進と健康管理・増進体制の強化

メンタルヘルス対策として、「予防」が最も重要と考えています。自らのストレス状況を把握するためのWEBツールを活用し、セルフチェック機能を高める一方、ラインケアの強化策として、新任管理職を対象にメンタルヘルスマネジメント研修を実施し、部下の体調変化に素早く気づけるよう、意識強化を図っています。さらに、上司による労働環境改善や、産業医との面談・外部医療機関への相談体制の整備等、疾病の早期発見・迅速な対応に努めているほか、休職者が復職する際には所属長・産業医・人事部が連携を図り、全面的なサポートを行っています。

また、社員が心身ともに健康であるために、長時間労働の削減に努めており、長時間労働者に対し、問診票配布、産業医面談を行うほか、所属長への労働時間削減への取り組みを促すことの徹底、休暇の取得促進等を体系的に実施しています。そのほか、年1回受診する健康診断結果をもとに、産業医および看護師からの指名による健康面談の実施や、勤務時間中いつでも産業医・看護師に相談できる体制を整備する等、社員の健康管理体制の強化に努めています。

※6Sパトロール：整理（せいり）・整頓（せいとん）・清掃（せいそう）・清潔（せいけつ）・躾（しつけ）に、サミー川越工場では安全（セーフティー）を追加。6Sパトロールとして安全・衛生面に配慮し、働きやすい環境づくりを目指しています。

—グループ会社の取り組み—

株式会社セガ・ロジスティクスサービス

≫社員の育成と働きやすい職場環境づくり

社員の自律的な能力開発やキャリアアップを支援するために、通信教育制度を設けています。なお、受講料の半額（条件により全額）を会社が負担し、社員が積極的に学習する機会を提供しています。

また、社員の長時間労働の抑制をはじめ、産業医による健康診断結果に対する指導の強化、職場の5S（整理、整頓、清掃、清潔、躾）運動の徹底による災害防止等、社員が安心して働くことのできる職場環境づくりに努めています。

日本マルチメディアサービス株式会社

≫社員の育成とワークライフバランスの推進

社員の育成を目的に社外教育支援制度を導入しています。これは会社が費用の全額もしくは一部負担し社外の研修や教育機関等に通うことができる制度で、2012年度は計2名が本制度を利用しました。

また、社員が仕事と子育てを両立させながら安心して働くことができるように、取り組みを進めています。さらに、子育てに限定せず個人のライフスタイルの充実を目指し、仕事と生活の調和を図り働きやすい環境づくりも整備しています。

株式会社サミーネットワークス

≫社内表彰制度をスタート

事業報告会での表彰式

サミーネットワークスでは、個人やチームの優れた成果や積極的なチャレンジを称え、情報共有を図るために、社内表彰制度を2012年度からスタートしました。表彰は、四半期ごとに頑張った社員やチームを「チャレンジ賞」「MVP賞」という形で表彰します。また、年一回の「社長賞」は、社員の公募でノミネートされた個人やチームの中から、表彰検討委員会で最終選考を行い決定します。第一回の表彰式は、全社員が一堂に会する事業報告会の中で行いました。こうした取り組みにより、社員の仕事へのモチベーションアップにもつながっています。

株式会社サミーデザイン

≫施工現場で安全の教育と推進活動を展開しています

現場事務所での安全教育

アミューズメント施設をはじめとした商業施設等のデザイン、設計施工をトータルで提供するサミーデザインでは、施工現場の安全衛生の確保に努めています。職長教育はもとより、現場の定例会議の中では、安全な労働環境の維持・向上を図るために、お客さまを含めたパートナー（施工会社・職人）向けの安全の教育と推進活動を展開しています。

また、労働環境および品質管理を確認するために、安全パトロールを実施しています。さらに、同じ事故や不手際を二度と起こさないために、現場での事故や不手際等の事例をまとめた、シリーズ「事例に学ぶ」を作成し、全社員参加のもと毎週1回、朝礼で情報共有を図り、安全に対する意識と知識、品質の維持・向上に努めています。

Topics

2012年度入社のグループ新人合同CSR研修

「会社の垣根を越えて“同期”を大切にする気持ち」を忘れないでほしいという狙いもあり、2012年度よりグループ新入社員向けCSR研修を実施しています。グループのCSRについての基本や取り組みを学ぶことは大切ですが、少人数の班に分かれてのワークショップでの経験は、この時期にしか感じることができないものを吸収する機会になります。

社会とともに

社会貢献

With Society

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、
本来の事業活動の繁栄を通じて社会に貢献するだけでなく、
芸術･スポーツなどの文化の発展支援への取り組みを、
積極的かつ自主的に行います。

私たちにとっての社会貢献とは

セガサミーグループは、良き「企業市民」として社会に貢献する必要性を強く認識しています。本業のエンタテインメントを通じて豊かな社会の創出に貢献していくことを第一の使命と考えています。次に独自のアイディアにより、スポーツや芸術等様々な活動を幅広く継続的に支援しています。とりわけ将来の豊かな社会の実現を確かなものとするために、次世代の育成に力を入れ、子どもたちに夢と感動をお届けする場を創出しています。また社員一人ひとりの社会貢献意識を高める風土づくりも積極的に行っています。

グループ行動規範

「本業の繁栄」

❶ お客さまに喜んでいただける商品･サービスの提供により本来の事業の繁栄を常に目指し、納税･雇用の創出により社会に貢献することを忘れません。

「社会への貢献」「寄付」

❷ 事業活動を通じて社会に貢献するのみならず、芸術･スポーツ等の文化の支援にも積極的かつ自主的に取組み、豊かな社会の実現に貢献します。

❸ 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、税法･商法･政治資金規正法等の関係法令に従って定められた社内ルールを遵守して、公明正大に行います。

「地域社会」

❹ 地域社会との連帯と協調を図り、地域に根ざす企業として積極的かつ自主的な交流に努めます。

『ジェルペット』
©'08, '13 SANRIO／SEGA TOYS S•S／W•TX•JLPC

社会貢献の取り組み

本来の事業活動の繁栄を通じて社会に貢献するだけでなく、芸術・スポーツ等の文化の発展にも貢献すべく、年間を通じ様々な活動を幅広く継続的に支援しています。中でも、次世代の育成に力を入れ、子どもたちに夢と感動をお届けする場を、グループ各社がそれぞれのリソースを活かし、積極的に創出しています。

（東日本大震災復旧復興支援活動については、P.17-18にまとめてご報告いたしました）

4月

地域活動

桜の植樹活動

TAIYO ELEC

タイヨーエレックでは、本社に隣接する「見寄公園」に、桜（ソメイヨシノ、シダレザクラ）を植樹（寄贈）しています。地域貢献の一環として1999年より毎年実施し、今回で計44本となりました。工場の多い当地域周辺の中で緑溢れる「見寄公園」は、44本の桜が華やかに咲き誇るお花見の季節はもちろん、1年を通して地域の皆さまの憩いの場となっています。

5月

スポーツ 芸術 文化

セガサミーカップPRESENTS ジュニアスポーツフェスティバル

SEGA SAMMY GROUP

セガサミーグループでは、『長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント』の開催に合わせ、地域におけるスポーツ振興と北海道への地域貢献を目的に、小中学生を対象としたスポーツ教室を2006年から継続的に開催しています。8回目となる今年は、千歳市、恵庭市、苫小牧市のご協力を得て、5月18日から6月30日にかけて各市のスポーツ施設で開催し、約1,500名の小中学生が参加しました。講師には、地元プロスポーツチームの「レバンガ北海道」や「コンサドーレ札幌」等、各界の一流アスリートをお招きし、14種目のスポーツ教室を開催しました。また今年新たな取り組みとして、千歳市産業振興部と協働しスポーツシンポジウムを開催。監督、選手、トレーナーとして世界を舞台に戦ってきた方々をパネリストに迎え「子どもたちに伝えたいこと」をテーマに様々な角度から語りあっていただき、会場は多数の来場者で賑わいました。

千歳ジュニアスポーツフェスティバル

地域活動

地元園児による花植え

OASIS PARK

今年も、岐阜県各務原市にあるオアシスパーク近隣の幼稚園の皆さんが当公園の花植えを手伝ってくれました。この活動は、普段は緑や土に触れることが少ない園児たちに、花植え作業を通して自然に触れる機会を提供する目的で毎年実施しています。

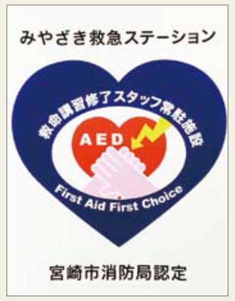
6月

事業貢献

「みやざき救急ステーション」に認定

PHOENIX SEAGAIA RESORT

宮崎県内初めての試みとして宮崎市消防局が2011年9月から始めた「みやざき救急ステーション事業」で、フェニックス・シーガイア・リゾート内の7つの施設が「みやざき救急ステーション」に認定されました。市内や近郊の旅館・ホテル、温泉施設で急病人が出た際、従業員が応急手当てできる施設を対象に認定書と表示マークが交付されています。同認定の条件である「従業員の3割が3時間の救命講習を受講」、「受講した従業員が営業時間内に2人以上いる」、「人工呼吸用のマスクやガーゼ等の応急手当て用の資材がある」、「年1回以上救命訓練を実施している」の4点を守り、これからも県内外から年間約720万人が訪れる観光地宮崎の安心と安全に貢献していきます。


みやざき救急ステーション
救命講習修了スタッフ常駐施設
AED
First Aid First Choice
宮崎市消防局認定

7月

地域活動

地域の皆さまとの交流

SEGA®

セガでは、毎年7月に行われる羽田神社夏季例大祭へ寄付を行うとともに、「子ども神輿」の休憩所を事業所敷地内に設け、飲料を提供しています。また、町内会主導で行われる月例のごみ拾い「街並み清掃活動」へも積極的に参加しています。セガサミー野球部が都市対抗野球本大会に出場した際には、町内会の皆さまがポスターを作成して町内へ掲示してくださるという熱い応援を受けました。今後も地域の皆さまとの交流を密に続けていきます。

8月

地域活動

県民の発表の場の創出

OASIS PARK

岐阜県営公園であるオアシスパークでは、来場者との双方向コミュニケーションを大切なものと位置づけ、県民の方々が自らを表現するための様々なイベント「キッズダンスコンテスト」、「街角コンサート」、「夢獅子舞の披露」などの場を提供することで、親しみやすい、地域に根付いた公園を目指しています。

9月

スポーツ 芸術 文化

第12回 東京ＪＡＺＺ

SEGA SAMMY GROUP

セガサミーグループは、東京国際フォーラムで毎年夏に開催される国内最大級のジャズフェスティバルに特別協賛しています。12回目を迎えた本イベントをセガサミーグループは当初から継続支援しており、これからも東京の新しい文化の発展に寄与し続けていきます。

©Rieko Oka

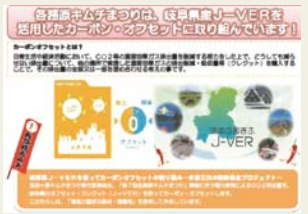
10月

事業貢献

カーボン・オフセット（県産J-VERの購入）

OASIS PARK

日本初の環境共生型パークとして誕生した、岐阜県の河川環境楽園内に位置するオアシスパークでは、パーク内の商業施設の照明を順次LEDに切り替え、デマンドコントロールを設置するなど、使用電力の抑制や節電対策に積極的に取り組んでいます。また、2012年度は、岐阜県が実施する〝森から生まれる環境価値普及促進事業〟の趣旨に賛同し、カーボン・オフセットの取り組みを行いました（カーボン・オフセット量：8t-CO_2）。今後も県営公園の管理者として、カーボン・オフセットイベントの開催等を通じて来園者との双方向コミュニケーションを図りながら、低炭素社会の実現にも貢献していきます。



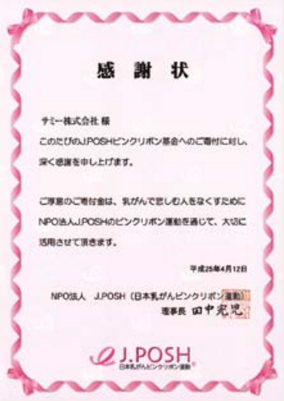
各務原キムチまつりは、岐阜県産J-VERを活用したカーボン・オフセットに取り組んでいます！

カーボンオフセットとは？

10月

社会支援

チャリティゴルフで「ピンクリボン運動」を応援


感　謝　状

サミー株式会社 様

このたびのJ.POSHピンクリボン基金へのご寄付に対し、深く感謝を申し上げます。

ご厚意のご寄付金は、乳がんで悲しむ人をなくすためにNPO法人J.POSHのピンクリボン運動を通じて、大切に活用させて頂きます。

平成25年4月12日

NPO法人　J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）
理事長 田中完児

J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動

サミー大阪支店では、10月に乳がん撲滅を目的としたチャリティゴルフコンペを開催しました。この思いに賛同していただいたお取引先、お客さまのご協力で集まった募金の総額158,900円は、NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）へ寄付しました。

社会支援

ピンクリボン運動の継続的推進

セガサミーゴルフエンタテインメントでは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを啓発するピンクリボン運動を継続的に応援しています。ピンクリボンチャリティコンペ開催時には、専門家を招いて啓発活動を実施しています。また、コンペのチャリティホール設定やオリジナルピンクリボンマーカーの販売等による収益の一部（合計60,000円）を「ピンクリボン in SAPPORO実行委員会」へ寄付しました。

11月

スポーツ芸術文化

セガサミーカップ学童軟式野球大会

2012年11月24・25日の2日間、セガサミー野球場を舞台に「第4回セガサミーカップ学童軟式野球大会」（主催:東京新聞、東京中日スポーツ、公益財団法人東京都軟式野球連盟）が開催されました。セガサミーグループでは、東京都学童野球のレベルアップを目的とする本大会に特別協賛し、野球場の提供など大会運営をサポートしています。東京都軟式野球連盟の各6ブロックと都内市町村地域から選抜された7チームに前年度優勝チームを加えた計8チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。大会初日には、毎年恒例になっているセガサミー野球部による野球教室も同時に開催。体の動き、目線、状況に応じたボールの捌き方など、動作の理由を交えながら決め細やかな指導が行われ、子どもたちからの疑問に選手が答える時間も設けました。

毎夏に北海道千歳市で開催されるセガサミーカップに合わせたジュニアスポーツフェスティバルでの野球教室、東京都八王子市の児童養護施設との定期的な交流会など、セガサミー野球部は、これからもスポーツを通じた明るく健全な社会の形成に寄与するべく、各種活動に取り組んでいきます。

地域活動

災害時の一時避難場所協定を締結

セガサミーゴルフエンタテインメントは、北海道千歳市の蘭越と新星の両地区で今まで確保されていなかった災害時における一時避難場所を提供する協定を、民間企業としては初めて、千歳市と結びました。地震や風水害などの災害直後に地域住民が避難し、安全を確認してから収容避難所に向かうため使用される一時避難場所として、地域住民の皆さまのお役に立ちたいと思います。

災害時における一時避難所I
セガサミーゴルフエンタテインメン

地域活動

小江戸川越マラソン2012への特別協賛

サミーでは、川越工場の地元で毎年開催される「小江戸川越マラソン」に特別協賛しています。2012年11月に開催された大会では、9,424名のランナーが、ハーフ・10km・FunRun（約4km）の3種目別に走りました。スタートとゴールの川越水上公園は、川越で最も大きいプール公園です。ランナーは川越の代名詞ともいえる蔵造りや川越祭りで活躍する山車、川越氷川神社前を通過しながらゴールに向かいます。セガサミーグループ社員はランナーとして62名、川越市民による給水ボランティア隊として15名が参加しました。

12月

社会支援

「東日本大震災こども未来基金」への義援募金活動

セガサミーゴルフエンタテインメントでは、NPO法人東日本大震災こども未来基金への義援募金活動を行いました。4月、5月のゴルフ場来場者売上の一部を募金にあてたほか、各種チャリティ企画の実施や募金箱の設置（4月～11月）により、メンバーをはじめとするお客さまにご協力をいただき、総額610,891円を震災で親をなくした子どもたちへの学資支援金として同基金に寄贈することができました。

2月

スポーツ芸術文化

障がい者スポーツ活動への支援

宮崎で2回目の開催となる障がい者水泳愛好者の九州大会「スプリングウォーターフェスタinシーガイア」を共催。その前日には、九州身体障害者水泳連盟選抜選手の強化合宿および普及合宿がフェニックス・シーガイア・リゾート内で実施され、MOVE IT! プロジェクト※1の一環で行われている宮崎大学医学部による体組成組織、超音波骨評価測定、圧力分布測定などを用いた測定を行い、練習に協力しました。また、6月の「第23回九州身体障害者水泳選手権大会」の共催、10月・2月の「車イスマラソンチーム合宿」の受入れ、1月の「ボッチャ※2普及講習会」などの障がい者スポーツを通し、障がいを持った方が健康で豊かな生活を送るための一助になる活動を推進しています。

また、2013年6月、長崎市で開催された「第24回九州身体障害者水泳選手権大会」では、当社所属の間ノ瀬俊輔選手が、200m自由形の大会新記録を出して優勝しました。

※1 MOVE IT!プロジェクト：フェニックス・シーガイア・リゾートが、2010年より取り組んでいる「カラダ、動かせ！ココロ、動かせ！アタマ、動かせ！」というテーマに則り、多彩なスポーツ施設や、黒松林に囲まれた恵まれた自然環境の中で、お越しいただいたお客さまには存分に楽しんでいただき、より元気になっていただくため、施設や設備面の充実を図り、様々なプログラムやサービスの開発、提供を行うプロジェクトです。

※2 ボッチャ：ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

3月

社会支援

献血ボランティア

タイヨーエレックでは、全社員による「社員からのCSRに関するアンケート」の結果で始まった、献血ボランティア活動を実施しています。4回目となる2013年3月には、本社勤務の役職員25名が参加しました。広く社会に貢献できるよう、これからも継続的に実施していきます。

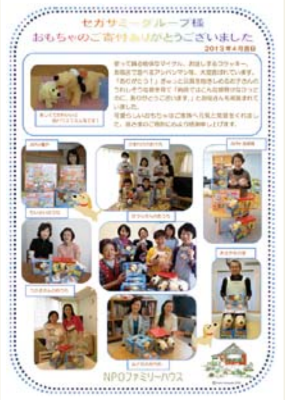
年間を通じて

社会支援

NPOとの協働プロジェクト「おもちゃの寄贈」

本業を活かした活動の一つである「おもちゃの寄贈」は今年で4年目を迎えました。セガトイズの製品を、当社グループと認定NPO法人日本NPOセンターが慎重に選定したNPO等の非営利団体先へ届ける活動です。主な寄贈先であるNPO法人日本クリニクラウン協会様には、病院や診療所での治療時のプレゼントや病院のプレイルーム、夏祭りの景品等としてお使いいただき、財団法人おもちゃの図書館全国連絡会様には、既存のネットワークを活用した「移動おもちゃ図書館」で巡る各地の子どもたちへ、玩具と笑顔を届けていただいています。

また、認定NPOファミリーハウス様では施設での使用のほか、病児のご家族へプレゼントし喜んでいただいています。その他、当社スタッフが施設を定期的に訪問し、一般のボランティアの方々と一緒に玩具やぬいぐるみ等の除菌・修繕作業を行っています。


セガサミーグループ様
おもちゃのご寄付ありがとうございました

NPOファミリーハウス

年間を通じて

社会支援 絵本を届ける運動

SEGA SAMMY GROUP

国際貢献活動として、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」（貧困や内戦によって不安と悲しみを抱える子どもたちの安らぎ、楽しみになることを祈って、子ども向けの図書がほとんど出版されていないカンボジア、ラオス、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタンへ、現地語訳のシールを貼った日本の絵本を届ける活動）に賛同し、グループ社員から不要な古本などを回収し、絵本を購入して、現地語訳のシール貼り等の活動を行っています。5年目の2012年度は、グループ企業22社の社員が参加し、昨年から始まった自動販売機の10円募金で集まった寄付を追加した合計金額で215冊の絵本を作成しました。絵本を通して楽しみながら文字を覚えることで、助かる命がたくさんあります。今後も、より多くのグループ社員に賛同を呼びかけ、活動の輪を広げていきます。

スポーツ 芸術 文化 障害者クロスカントリースキー日本チームの支援

SEGA SAMMY GROUP

セガサミーグループでは、日本国内の障がい者およびその関係者がクロスカントリースキーに親しみ、競技力の向上と同競技の振興と普及を図ることを目的として活動する障害者クロスカントリースキー日本チームを支援しています。「パラリンピックなどを目指したい障がいのある青少年に夢を与えたい。パラリンピックなどを目指す選手たちの応援する輪を広げたい。」という同チームの母体である日本障害者クロスカントリースキー協会の思いに賛同し、これからも支援を続けていきます。

スポーツ 芸術 文化 東京ジョイポリスへのご招待

SEGA® SEGA SAMMY HOLDINGS

2012年10月より、玩具の寄贈先でもある認定NPOファミリーハウス様の施設利用者を、セガが運営する屋内大型施設「東京ジョイポリス」へご招待する活動を始めました。子どもの長期入院は、母親だけでなく兄弟姉妹を含む家族全体の生活環境を一変させます。長期入院で離ればなれで暮らす病児と家族にとっては一緒に過ごす時間が何より大切なこと、というファミリーハウス様のスタッフの方の一言に、楽しい時間と空間をジョイポリスで過ごしていただこうとセガが応える形で始まりました。ご利用されたご家族からは「係員がみな親切で、身体の不自由なところを考慮したきめ細かいサービスをしてくれた」とのコメントをいただいています。2012年度は、計33名の方々をご招待しお楽しみいただきました。

海外での取り組み

海外の社会貢献活動 地域のフードバンクでの活動

セガアメリカの従業員たちは、地域貢献の一環としてオフィスのあるサンフランシスコのフードバンク※で定期的にボランティア活動を行っています。地域の食品貯蔵庫に運ばれてくる何千ポンドもの食品を、チーム一丸となって袋詰めしています。こうした形で地域に貢献できることは素晴らしいことなので、今後も続けていきたいと思います。

※ フードバンク：食品を取り扱う企業から、製造・流通過程などで出る余剰食品や規格外商品、販売店舗で売れ残った賞味期限・消費期限内の商品など、安全上は問題がなくても廃棄される食品の寄付を受け、無償で必要な人や団体に提供するボランティア活動、およびその活動を行う団体。一般家庭で余った賞味期限内の食品も対象となる。福祉団体・生活弱者支援のボランティア活動として1960年代にアメリカで始まり、日本でも2000年頃から行われています。

社会とともに 環境

With Society

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、
本来の事業活動の繁栄を通じて社会に貢献するだけでなく、
地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

私たちにとっての環境とは

社会を構成する一員として、地球環境問題に真摯に取り組む必要があるのはいうまでもありません。セガサミーグループでは、2006年にセガ、サミーにおいて、生産プロセス·商品·サービスといった事業全体を通じて環境負荷を発生させる可能性の調査を行いました。（環境分野を専門とする第三者調査研究機関に委託）調査結果によれば、業態の特性上、環境面での深刻なリスクは見られないとのことでしたが、当社グループはこの結果に甘んずることなく、環境関連法規の遵守の徹底·資源やエネルギーの効率活用等独自の環境対策を積極的に進めています。また、社員一人ひとりが、私生活でも環境を意識した行動を取れるよう、環境意識の啓発、醸成、向上にも注力しています。気候変動等の深刻な様相を呈する地球環境問題への対策は急務であり、企業が自発的かつ積極的に環境保全活動を実施し続けることは最重要課題の一つと考えています。セガサミーグループでは、地球環境に配慮した企業活動を適切に実施するために、グループ社員の行動指針として「グループ行動規範」の中に3項目を明示しています。地域社会の一員としてできることは何かを、グループ社員一人ひとりが課題として認識し、地球環境保護への取り組みを推進します。

グループ行動規範

「地球環境」

❶ 資材調達から製造·流通·使用·リサイクル·廃棄まで、商品のライフサイクル全般にわたり地球環境への影響を考慮します。

❷ 地球環境の保護のために、関係法令および各種規制を遵守するだけではなく、積極的かつ自主的な取組みを検討·実行するよう努めます。

❸ 地球環境に対する意識が高く、公私共に省資源·省エネルギーに努める人材を育成します。

『エイリやん』
©Sammy

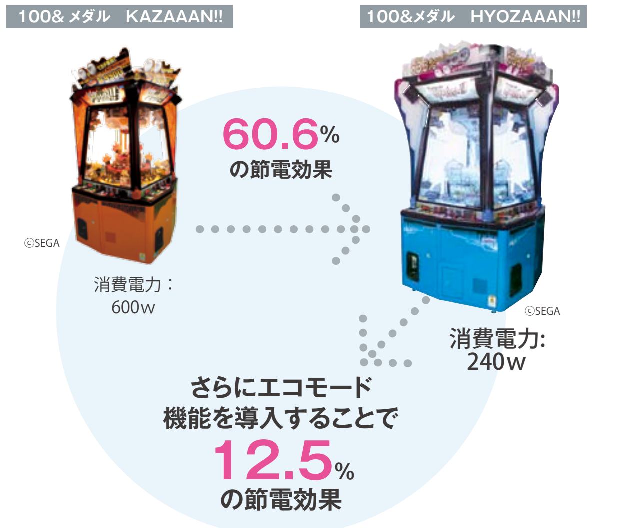
—セガの取り組み—

環境保全活動

»製品の省エネルギー化への取り組み

研究開発本部では、アミューズメント機器の運用における利便性向上に取り組む委員会を毎月開催しています。その中でLEDや液晶ディスプレイ等の低消費電力部品の積極的採用や、照明スイッチの個別設定、待機時の電力消費を抑えるエコモードの搭載等を進め、省電力でエネルギー効率の高いアミューズメント機器の製品化に努めてきました。引き続き、様々な角度から省エネルギー化を目指し、環境に配慮した製品の開発を積極的に進めていきます。

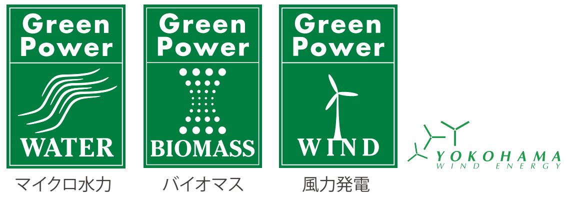
［従来製品に比べ大幅な節電効果をあげることができた製品例］



»グリーン電力証書システムの導入

2005年度より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書（マイクロ水力、バイオマス）」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置の風力発電機（ハマウィング）を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、Y（ヨコハマ）-グリーンパートナーとして協賛しています。2012年度の実績は90,488kWhです。

グリーン電力証書

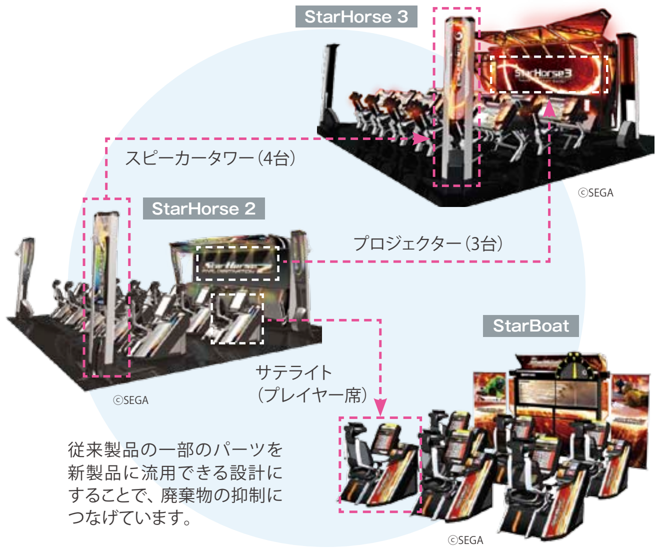


»ライフサイクルを考慮した製品設計

後にグループ会社のセガ・ロジスティクスサービスが行うリサイクルを考慮し、一部のアミューズメント機器では現行製品の部品を新製品にリユース可能な設計にすることで、廃棄物の抑制に努めています。

また、販売部門を含むデザインレビュー等を活用して日常メンテナンスや定期点検を考えた製品設計を行い、その手順を分かりやすく記した各種マニュアルを店舗に提供することで、製品の長寿命化につなげています。

［廃棄物の抑制につながる製品の開発例（StarHorse2からStarHorse3、StarBoat への流用例）］



従来製品の一部のパーツを新製品に流用できる設計にすることで、廃棄物の抑制につなげています。

Topics

資源の有効利用

セガ・ロジスティクスサービスでは、事業を通じた地球環境保護の一環として、アミューズメント機器の手分解による廃棄物のリデュース、中古アミューズメント機器販売によるリユース事業を展開しています。物流拠点には産業廃棄物中間処理業者を招致し、回収した使用済みアミューズメント機器を、手分解により100%リサイクルしています。産廃業者を招致することで、廃棄品を運搬するコストや燃料を抑制し、不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開し、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」を達成しています。また、リサイクル筐体を使用したアミューズメント機器の企画・開発等、3R活動を事業スキームに取り込み、資源の有効活用により環境負荷の低減を進めています。

»オフィスでの環境活動

本社や各事業所では、これまでも照明の間引きや空調の抑制等、無駄な電力使用を減らすための様々な節電対策を実施してきました。2012年度は本社の移転に伴い、さらなる省エネや省資源、コスト削減につながる取り組みを推進すべく、様々なシステムを見直しました。

ネットワークの完全無線LAN化とともに、パソコンを通して音声通話するシステム等の導入により、ネット回線と電話機の配線に要する資源やコストを削減しました。ネットワーク上での資料共有ツールの活用、各フロアや会議室へのプロジェクター設置、出力時に個人認証を要する複合機の採用と最適配置により、紙資源の削減も推進しています。

また、移転後に主な拠点が3ヶ所に分散したことから、拠点間の往来時間等の負荷削減のためTV会議システムを拡充しています。

今後は各システムの利用状況等を調査し、さらなる改善を図る予定です。

森林の里親活動（セガの森）を通じた環境保全活動

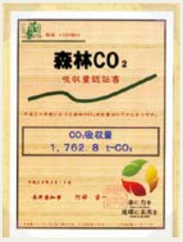
»森林（もり）の里親契約

セガは長野県南佐久郡南相木村との間に、民有林約3,633haを対象とした「森林の里親契約」を締結しています。（2008年4月1日～2018年3月31日までの10年契約）

対象となる森林を「セガの森」と名づけ、森林の里親として南相木村の皆さまとの交流とCO_2削減・カーボンオフセットを推進しています。

CO_2吸収証書

2012年度の「セガの森」整備によるCO_2吸収量が長野県より評価され、「森林CO_2吸収量認定書」が発行されました。2012年度の実績は1,762.8t-CO_2です。



森林CO_2
吸収量認証書
CO_2吸収量
1,762.8 t-CO_2

»セガの森の活用

村民の皆さまのご協力、ご指導のもと、「セガの森」を自然学習や森林整備体験の場として活用しています。従業員の地球環境保護に対する意識の醸成と、その日常生活や事業活動への反映を目的としています。

自然学習としての活用

2012年はセガサミーグループ従業員の子どもたちとともに、木々が土壌や生物にもたらす恩恵や森の貯水・濾過機能などを学習しました。また、実際に森奥の湧水に触れ、水が流れつく湖の魚とその水で育てた農作物の収穫体験を通じて、環境保護の大切さについての理解を深めました。

森林整備体験

日常的に「セガの森」を守り、育んでくださっている村民の皆さまにご指導いただき、その大変さと大切さを身をもって学ぶことで地球環境保護の必要性を考える機会として森林整備体験を毎年実施しています。

2012年は、密集したカラマツやイチイの枝打ち、除伐・間伐などを体験させていただきました。その中でご指導いただいた村民の皆さまと交流も図ることができました。

また、日ごろよりお世話になっている村民の皆さまへの感謝の気持ちを込め、最終日に観光名所「おみかの滝」の周遊路を清掃させていただきました。

整備前

整備後

事業活動や自らが自然へと及ぼす直接的・間接的影響について深く想い、日常に戻った際にも積極的かつ具体的な環境意識を行動へつなげてもらえることを期待しています。引き続き、森林のCO_2削減＝地球環境保護に留まらない「里親活動」を展開していきます。

—サミーの取り組み—

環境保全活動

≫3R活動の推進

パチンコ・パチスロは資源有効利用促進法の対象製品であり、3R（リデュース、リユース、リサイクル）に向けた取り組みが求められています。

当社では、自社の製品フローを整備し、3Rへの取り組みを進めています。2012年度は遊技機のリサイクル率98.47％を達成しています。（サーマルリサイクルを除く）

［設計・開発段階での取り組み］

設計・開発段階では、基板の種類を限定することで、各製品における共通使用を可能とし、余剰部品が発生した場合でもほかの製品に活用できるよう取り組んでいます。なお、部材の共通化をサミーグループ4社（サミー、タイヨーエレック、ロデオ、銀座）で積極的に推進することで、資源の有効利用、廃棄物の削減に努めています。

［生産・輸送段階での取り組み］

生産段階では、生産工程で発生する廃棄物のリサイクルや適正処理等に積極的に取り組んでいます。

また、2012年9月には新工場の隣接地に新たに流通センターを設けました。製造拠点に流通センターを設けたことで、これまで散在していた部品保管倉庫の機能を集約することができ、輸送にかかるエネルギーの削減につながっています。加えてリサイクル・リユースの効率化も図ることができました。

通い箱を使用することで容器包装を削減

［廃棄段階での取り組み］

多くのお客さまに楽しんでいただいた後の使用済みパチンコ・パチスロは、適正に処理するために、自社台の下取りのほか、業界団体回収システム等を利用した適正なリサイクル処理を行っています。

≫グリーン調達の取り組み

パチンコ・パチスロの設計・開発段階において、鉛フリーはんだ部品、森林認証材、水系接着剤の採用を進め、環境負荷の少ない原材料を用いるグリーン調達の取り組みを行っています。

≫オフィスでの省エネ・省資源の取り組み

全社で「ごみゼロ運動」を展開し、ごみ分別の徹底をはじめ、会議や打ち合わせにおいては、モニターやパソコンを活用しペーパーレスを積極的に進めています。

また、エアコンの温度設定管理をはじめ、昼時間の消灯や廊下の照明の間引き、パソコンを使用しない場合のスリープモード設定の徹底等、地道な省エネ活動を徹底しています。

Topics

省エネノウハウを積極的に提供しています

Sammy Design

サミーデザインでは、可能な限りの省エネルギー設計を目指した環境配慮型の店舗デザインの設計・施工をお客さまにご提案しています。省エネはコスト削減にもつながることから、これからも事業を通じて持続可能な社会の発展に寄与できる空間を創造するとともに、情報提供等を積極的に行っています。

サミー川越工場における環境配慮の状況

			2010年度	2011年度	2012年度
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率		99.5%	97.76%	98.47%
環境配慮素材の利用	木材使用量		3,206t	3,145t	1,779t※1
		うちPEFC認証木材※2	1,076t（33.6%）	1,012t（32.2%）	468t（26.3%）
	接着剤使用量		3.24t	2.7t	0.36t
		うち水系接着剤	3.24t（100%）	2.7t（100%）	0.36t（100%）

※1 生産拠点では、盤面の素材がベニヤ板からアクリル板に変更されたため、減少。

※2 PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム（Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes）によって「持続可能な森林管理が行われている」と第三者機関に認証された森林より適切に調達された木材。環境破壊的な森林伐採による木材や製品の流通を抑えるための仕組みで、PEFC認証木材を購買することで、持続可能な森林管理の促進に貢献している。

—グループ会社の取り組み—

グループ全体の取り組み

≫環境負荷と環境影響

セガサミーグループは、製品の製造から施設の運営まで多岐にわたる事業を展開しており、環境負荷を低減するためには、まず事業活動全体の環境影響を把握する必要があると考えています。そこで、主要な事業所や施設の環境基礎データを集計・把握し、環境負荷の推移を評価することで、環境負荷の低減に努めています。

なお、主な環境影響の一つとして挙げられる各事業所や施設における電力使用については、2012年度は、集計範囲の拡大並びにオフィスの増床、アミューズメント施設の増加、新工場の稼働等により増加しました。今後は、照明や空調等の効率的な使用をはじめ、省エネ設備への切り替え等を積極的に進めることで、電力使用量の削減に努めていきます。

≫環境関連法規の遵守

セガサミーグループでは、環境関連法規はもとより、各事業会社が同意した業界団体等の指針を遵守し、環境汚染の防止に努めています。なお、2012年度は、環境関連法規違反および環境を汚染する事故はありませんでした。

≫環境教育・環境啓発

セガサミーグループでは、環境保全活動をグループ全体に展開し、維持・発展させるために積極的に環境教育を進めています。イントラネットで環境問題について意識啓発するだけでなく、教育ツールともなる環境ハンドブックを作成し、全社員の意識向上を図っています。環境ハンドブックは、環境問題に関する知識と感度を持ち、家庭でも環境に配慮した行動を起こせるように分かりやすく編集しています。今後も、環境保全は社会を構成する一人ひとりが真摯に取り組まなくてはならない問題であるという認識のもと、グループ全体で環境保全に取り組んでいきます。

環境ハンドブック
Ecology Hand Book
環境をテーマとした教育ツール

セガサミーグループにおける環境基礎データ　［対象期間］2012年4月1日～2013年3月31日

		2010年度	2011年度	2012年度
エネルギー使用量（GJ）※1	オフィス	191,385	161,350	191,762
	アミューズメント施設	1,482,970	1,210,725	1,344,413
	生産拠点	49,648	45,856	67,499
エネルギー使用に伴う CO_2排出量（t-CO_2）※2	オフィス	7,872	6,637	9,734
	アミューズメント施設	57,042	46,865	64,474
	生産拠点	1,738	1,514	2,626
水使用量（m^3）※3	オフィス	66,303	80,044	72,547
	アミューズメント施設	79,505	62,572	61,520
	生産拠点	5,550	6,208	4,763
産業廃棄物排出量（t）※4	オフィス・営業所・流通拠点（セガ）／アミューズメント施設	3,202	4,821	2,610
	生産拠点	353	814	379

※1 オフィス、アミューズメント施設、生産拠点での電気、都市ガス、LPガス、灯油の使用量を計上。

※2 CO_2換算係数は、2013年5月環境省ホームページ更新の「算出・報告・公表制度における算出方法・排出係数一覧」および2012年11月公表の「平成25年度の電気事業者別排出係数一覧」を利用。参考URL ≫ http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc

※3 一部の水使用量は、水道使用料金および床面積からの推定値。

※4 セガの流通拠点から出る産業廃棄物は、オフィスの産業廃棄物と合算して計上。

［対象施設］

			2010年度	2011年度	2012年度
オフィス	セガ	事業所・営業所	14	14	17
	サミー	事業所・営業所・流通拠点※5	40	39	45
	ホールディングス	事業所※6	1	1	4
アミューズメント施設	セガ	直営店	190	191	194
		ジョイポリス	3	3	2
		温浴施設	1	1	1
生産拠点	サミー	工場（川越）	1	1	2

※5 2012年度より保養所3ヶ所を含む。

※6 2012年度より保養所2ヶ所と野球施設（グラウンドと選手寮）を含む。

第三者意見

上智大学
経済学部教授
上妻 義直 氏

このコメントでは、セガサミーグループの「CSR Report 2013」を拝見し、評価したい取り組みと今後の期待事項について、筆者の主観的な意見を述べています。

1. ガバナンス・コンプライアンス体制

もっとも印象に残ったのはガバナンス・コンプライアンス体制の確立に向けた経営陣の明確な姿勢です。総合エンタテインメント企業という業種特性からも必要な取り組みですが、それを越えてコンプライアンス意識の組織風土化を志向するような方向性が、CSRマネジメントの推進状況からひしひしと伝わってくるのです。たとえば、グループガバナンス体制の整備・強化を進める組織的な取り組みがとても重視されていることや、コンプライアンス意識の社内的な醸成・浸透を図るために豊富な研修と情報開示が行われていることなど、毎年、多面的・多角的な取り組みがこの分野で強力に進められています。これからも継続的な推進が望まれる事項です。

2. 人材育成

「会社にとってもっとも重要な財産は社員である」と明言されるように、社員の方々が自由に働ける環境を整備して、その創造性とチャレンジ精神をビジネスの原動力に変える経営スタイルが、セガサミーグループの大きな特徴であるように思います。世の中をエンタテインメント事業で活性化し、持続可能な社会への転換を人々の心から推し進める企業として、社員の方々の卓抜なアイディアや豊かな創造力は不可欠な経営資源であるに違いありません。そのインフラを作る上で、各種人事制度、教育・研修制度、ワークライフバランス施策、安全衛生施策は適切に機能することが求められていますが、開示された人事関連データからは、それらの良好な機能状況がわかります。今後は、海外での事業展開にも対応できるように、グローバルな人事管理制度の整備が望まれます。

3. サプライチェーンでの取り組み

セガのようなファブレス企業にとって、CSRマネジメントのサプライチェーン展開は、安定的な生産体制の確保とCSRリスク低減を目指す上で重要な課題です。もちろん、自社生産するサミーにとってもサプライチェーン問題の重要性は低くありません。この点について、セガおよびサミーの取り組みはともにサプライヤーとのパートナーシップ形成を基調とする点で優れており、取引の公平性・公正性を担保する体制作りやコンプライアンス体制の強化に支えられて、実効性が向上していると考えられます。こうした取り組みレベルでのスコープ拡張が情報開示面にも反映されるように、CSRマネジメントのサプライチェーン展開をさらに進めていただきたいと思います。

4. 継続的改善

セガサミーグループでは、これまでも様々な取り組みについて、毎年のように継続的改善を実施してきました。たとえば、CSRマネジメントの基礎となる「グループ経営理念」「グループCSR憲章」「グループ行動規範」は2004年の経営統合直後に制定されましたし、マテリアリティ分析による重要課題の識別や目標・実績管理はすでに開始されています。今年度の大きな改善点は「CSR推進方針」の策定ですが、これによってCSRマネジメントの社内ガイドライン整備はほぼ完了しました。それらの運用がさらに効率的に行われるように、今後は定量的な目標管理も重要な検討課題に含まれてくると考えられます。

第三者意見をいただいて

本年度のレポートでは、幅広く事業を展開する当社グループとしてエンタテインメントを通し、どう社会に夢や感動といった活力をお届けしようとしているのかを、わかりやすくお伝えすべく取り組みました。本業を通じた安心・安全・満足の提供、社会課題解決の一助となる事業事例の紹介、そして東日本大震災復興支援への継続的かつエンタテインメント企業らしい取り組みなどを伝えさせていただきました。また、これまでのグループの活動を再認識し、さらなる社員のCSRマインドの浸透と、グループ全体におけるCSR活動推進のために「CSR推進方針」を提示しました。

上妻先生からご指摘いただきましたように、ガバナンス・コンプライアンス体制確立、CSRマネジメントのサプライチェーン展開などの継続的な改善を行うとともに、より定量的な目標管理やグローバルな人材の育成、管理の取り組みを推進してまいりたいと考えます。

巻末に本レポートに関するアンケートがございます。読者の皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております。

セガサミー
ホールディングス株式会社
執行役員
グループCSR推進室長
石倉 博

グループ会社一覧

（2013年6月3日現在）

SEGA®

社名 株式会社 セガ
本社所在地 〒140-8583
東京都品川区東品川一丁目39番9号 カナルサイドビル

Sammy

社名 サミー株式会社
本社所在地 〒170-6029
東京都豊島区東池袋三丁目1番1号 サンシャイン60 29階

国内29社

- 株式会社 セガ
- サミー株式会社
- 株式会社サミーネットワークス
- 株式会社セガトイズ
- 株式会社トムス・エンタテインメント
- タイヨーエレック株式会社
- 株式会社ウェーブマスター
- 株式会社オアシスパーク
- 株式会社銀座
- 株式会社サミーデザイン
- 株式会社セガ エンタテインメント
- セガサミーゴルフエンタテインメント株式会社
- セガサミークリエイション株式会社
- 株式会社セガネットワークス
- 株式会社セガ・ロジスティクスサービス
- 株式会社ダーツライブ
- 株式会社 ディー・バイ・エル・クリエイション
- 株式会社テレコム・アニメーションフィルム
- 株式会社トクシス
- 株式会社トムス・フォト
- 株式会社トムス・ミュージック
- 日本マルチメディアサービス株式会社
- 株式会社アネスト
- インフィニトーク株式会社
- 株式会社patina
- 株式会社バタフライ
- フェニックスリゾート株式会社
- マーザ・アニメーションプラネット株式会社
- 株式会社ロデオ

海外24社

- Sega of America, Inc.
- Three Rings Design, Inc.
- DARTSLIVE USA, INC.
- Relic Entertainment, Inc.
- Sega Europe Ltd.
- Sega Amusements Europe Ltd.
- Sega Publishing Europe Ltd.
- Sports Interactive Ltd.
- The Creative Assembly Ltd.
- DARTSLIVE EUROPE LTD.
- Sega（Shanghai）Software Co., Ltd.
- Sega Shanghai & Co., Ltd.
- Sega Jinwin（Shanghai）Amusements Co., Ltd.
- Beijing SEGA Mobile Entertainment Technology Co., Ltd.
- Sega Amusements Taiwan Ltd.
- 株式会社セガサミー釜山
- SEGA PUBLISHING KOREA LTD.
- 株式会社パラダイスセガサミー
- SEGA TOYS（HK）CO., LTD.
- TMS MUSIC（UK）LTD.
- TMS MUSIC（HK）LTD.
- DARTSLIVE ASIA Ltd.
- DARTSLIVE INTERNATIONAL Ltd.
- i DartsGroup Ltd.

アニュアルレポートとの関連性

アニュアルレポートでは財務情報を中心に報告し、CSRレポートでは非財務情報を中心に報告しています。CSRレポートに掲載されていない財務情報の詳細については、ホールディングスWEBサイトIRページをご覧ください。

Web ≫IRサイト
http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/index.html

免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想･予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

『セガサミーグループ CSRレポート2013』アンケート

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

『セガサミーグループ CSRレポート2013』をお読みいただきありがとうございました。
今後のCSR活動や次回のCSRレポートの改善に活用させていただきますので、
大変お手数ではございますが、アンケートにご回答の上、FAXにてお送りください。

FAX:03-6215-9986　**セガサミーホールディングス株式会社**
グループCSR推進室 行

Q1 『セガサミーグループ CSRレポート2013』について、どのようにお感じになりましたか？

❶内容の理解しやすさ	□非常に理解しやすい	□理解しやすい	□やや理解しにくい	□理解しにくい
❷求める情報の充足度	□十分満たしている	□ほぼ満たしている	□やや足りない	□足りない
❸読みやすさ	□非常に読みやすい	□読みやすい	□やや読みにくい	□読みにくい
❹当グループのCSR活動について	□大変評価できる	□評価できる	□評価できない	

Q2 下記のページごとの感想で、あてはまる箇所に○をご記入ください。
またその理由をお聞かせください。

	とても良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	理由
❶トップメッセージ	□	□	□	□	[ ]
❷社長メッセージ	□	□	□	□	[ ]
❸グループ概要	□	□	□	□	[ ]
❹事業概要	□	□	□	□	[ ]
❺特集1（サミー）	□	□	□	□	[ ]
❻特集2（セガ）	□	□	□	□	[ ]
❼特集3（セガトイズ）	□	□	□	□	[ ]
❽特集4（トムス・エンタテインメント）	□	□	□	□	[ ]
❾特集5（被災地支援活動について）	□	□	□	□	[ ]
❿東日本大震災復興支援活動	□	□	□	□	[ ]
⓫セガサミーグループのCSR	□	□	□	□	[ ]
⓬コーポレート・ガバナンス	□	□	□	□	[ ]
⓭コンプライアンス/リスク管理	□	□	□	□	[ ]
⓮お客さまとともに	□	□	□	□	[ ]
⓯お取引先とともに	□	□	□	□	[ ]
⓰株主・投資家とともに	□	□	□	□	[ ]
⓱従業員とともに	□	□	□	□	[ ]
⓲社会とともに（社会貢献）	□	□	□	□	[ ]
⓳社会とともに（環境）	□	□	□	□	[ ]
⓴第三者意見	□	□	□	□	[ ]

Q3 下記の内容で、さらに詳しく知りたいと思われる項目をお選びください。
次年度以降のCSRレポート作成の参考とさせていただきます。（複数回答可）

□ゲームやパチンコ・パチスロ、玩具が人に与えるプラスとマイナスの影響について
・プラスの影響例：脳の活性化（認知症の改善、想像力・論理力の向上など）
・マイナスの影響例：ゲームによる身体的影響（視力低下、肩こりなど）、
精神的影響（対人能力の低下や過激な表現など一般的に言われているゲームの有害性）、
パチンコによる依存症など

□家庭用ゲームソフト、ポータブルゲームソフトができるまで

□グループ各社の事業の特徴

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q4 セガサミーグループに期待することや、本レポートに関するご意見・ご要望などをご記入ください。

[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

Q5 本レポートをお読みになって、セガサミーグループに対する印象はかわりましたか？

□よくなった　□わるくなった　□かわらない

Q6 『セガサミーグループ CSRレポート2013』をどのようなお立場からお読みになりましたか？

□お客さま　□株主・投資家　□金融機関　□お取引先・協力企業　□企業の環境・CSR担当
□政府・行政関係者　□NPO・NGO関係　□報道関係　□学生　□教育・研究機関　□社員・家族
□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■お差し支えなければ以下にもご記入ください。

性別：□女性　□男性
年齢：□10歳代　□20歳代　□30歳代　□40歳代　□50歳代　□60歳代　□70歳代以上

ご協力ありがとうございました。